



惠泉女子大学

出前講座

Guide Book 2014

- 日本語日本文化学科
- 英語コミュニケーション学科
- 歴史文化学科
- 国際社会学科
- 現代社会学科
- 社会園芸学科





発刊によせて

恵泉のユニークな授業をお届けします。



恵泉女学園大学 学長
川島 堅二

今から85年前の1929年（昭和4年）に恵泉女学園は、河井道という一人のクリスチヤン女性によって創立されました。当時の日本は軍国主義を強め、戦争へとひた走っていましたが、河井は、10歳で札幌のスミス女学校（現在の北星学園女子中学高等学校）に入学、21歳でアメリカに渡り、27歳でプリンマー女子大学を卒業するという経歴により、当時の日本の国家主義にもとづく教育（教育勅語）とは無縁の自己形成をなし、その教育方針にも当時としては非常に独特なものがありました。

当時の教え子たちの心に残る河井の以下のようなことばがそれを表しています。

「イエスとノーをはっきり言える人間におなりなさいまし」
「世界にはばたく女性におなりなさいまし」
「女が結婚することを、あの人はお片づきになったなんて、そんなのは駄目です。
結婚しようがしまいが、自分の足できちんとお歩きなさい」

このような創立者の精神を継承し、1988年に開設された4年制大学も、当初から「キリスト教学入門」「生活園芸入門」「平和研究入門」を必修にして、キリスト教の精神を土台に、大地にしっかりと根差し、平和を志向する自立した女性を世に送り出すことを目指してまいりました。キリスト教学や平和学とともに、新入生全員に畑を割り当て、1年間を通して農作業を体験させる大学は、世界にも類がないと自負しております。

語学教育においても、国際語としての英語を重視することは言うまでもありませんが、中国語、韓国語、インドネシア語、タイ語、ヒンディー語など、アジアの諸言語も学ぶことのできるカリキュラムを用意し、文字通り「世界にはばたく女性」の育成に努めています。

ここにお届けするのは、上記のようなユニークな恵泉教育の一端を体験していただくためのプログラムです。いずれの講座も、本学の専任教員がそれぞれの専門分野を高校生にもわかるように工夫された内容ばかりです。これにより、大学進学を希望している若い方々が、学ぶことの楽しさを味わい、自己と世界を見出し、将来の人生設計にわずかでもお役にたつことができれば幸いです。





「出前講座」の ご案内

1. 目的

本学が有する知的財産を積極的に学外の人々と共有することを目指して、本学専任教員が高校等に出向いて専門領域や関連する今日的トピックについて講義を行います。そして、地域や高校との連携を促進し、高校生の自己発見及び将来の職業選択支援に貢献することを目的としています。

2. 対象

推薦入試指定校、入学実績のある高校、キリスト教学校教育同盟加盟高校、近隣高校など。

3. 講座の形式

- (1) 高等学校の教科（「総合的な学習の時間」を含む）における講座開催
- (2) 高等学校の教科以外の行事（文化祭等）での講演
- (3) 高等学校の職員研修等での講演
- (4) 恵泉女学園大学における模擬授業形式での講座開催（キャンパスツアーも実施できます）

※講座等の時間や内容については、高等学校の実情を考慮し柔軟に対応します。

4. 費用

出張に伴う全費用は本学が負担いたしますので、受入先の負担は一切不要です。

5. 申込方法

- (1) 本冊子57ページに綴じ込みの「恵泉女学園大学出前講座 打ち合わせ書」に必要事項をご記入のうえ、Faxあるいは郵送で下記申込先へご送付ください。
- (2) 「打ち合わせ書」受領後、担当者から詳細をご連絡いたします。
詳しくは本冊子56ページをご参照ください。

※諸事情により日程の調整がつかず、ご希望に添えない場合にはご容赦願います。

6. 講座の打ち合わせ等

講座の具体的な内容は、講師と高校側担当者で十分に打ち合わせを行います。

7. 申込先

恵泉女学園大学 入試広報室

〒206-8586 東京都多摩市南野2-10-1 TEL. 042-376-8217 FAX. 042-376-8604
E-mail nyushi@keisen.ac.jp

Contents

惠泉女学園大学「出前講座」一覧

人文学部 日本語日本文化学科

どっさりオノマトペ	教授 秋元 美晴	6
名探偵コナンはなぜ大阪弁を話さないのか?		
『源氏物語』に見る女性の生き方	教授 佐谷 真木人	7
「聖地巡礼」と日本文学		
アハ体験ができる文法	教授 山田 昌裕	8
21世紀の「坊ちゃん」	教授 篠崎 美生子	9
さらば、マザコン文学		
詩の世界の魅力——〈朗読〉を通して詩と出会う	特任教授 林 浩平	10
川柳(せんりゅう)を作ろう——文芸創作入門		
日本語表現力 UP!	特任講師 武田 知子	11
コミュニケーション上手は聞き上手		
苗字と名前の歴史	特任助教 吉岡 拓	12
新選組はなぜ生まれたのか		

人文学部 英語コミュニケーション学科

『ハリー・ポッター』の世界——イギリス文化入門	教授 榎本 真理子	14
『苦海淨土——わが水俣病』とは		
Music and Language: English through music for all levels	教授 QUOCK, Theodore H.	15
Western Humor: Learning language and culture through humor		
元気ができる 英語。ビデオを使って communication	教授 Ken Fujioka	16
英語で説明してみよう！ わかってもらう英語 communication		
教育の哲学を考えてみよう	准教授 常葉 美穂	17
学校以外での教育と学び		
英語コミュニケーション能力とは何か	特任准教授 田島 千裕	18
海外留学準備英語科目の体験		
Recycling (リサイクル)	特任助教 MESUREUR Germain	19
Biological Interactions (生物相互作用)		

人文学部 歴史文化学科

ユダヤ人にビザを発給した杉原千畝の生涯	教授 岩村 太郎	21
プラトンの愛の起源の神話		

小説から何が見える?	教授 川戸 れい子	22
『グリム童話』は童話ではない!?		
500年前の世界に、150年前の日本に「宗教」はまだなかった?!	教授 笛尾 典代	23
「聖地」—なぜ人は惹きつけられるのか		
兵士の試験を受けてみる?——さまざまな史資料に挑戦!	教授 杉山 恵子	24
一枚のアメリカ絵画から——アメリカの人種、階級、男女関係をさぐる		
タイタニックー船上のイギリス社会	准教授 高濱 俊幸	25
議会のかたち、政治のかたち		
キリスト教と美術	准教授 伊藤 拓真	26
イタリアルネサンスとは何か		

人間社会学部 国際社会学科

日本と朝鮮の歴史と文化交流	教授 李省展	28
多文化共生社会と日本		
なぜ結婚すると名字が変わるの?	教授 齊藤 小百合	29
「ツケマ禁止」校則の憲法学		
アメリカ社会の特徴を学ぼう—アメリカは豊かな国?	教授 坂井 誠	30
お金について学ぼう—お金は人類最大の発明?		
アニメの中のお母さん	教授 定松 文	31
フランス文化とは何か		
砂糖と英語とノーベル賞の関係	教授 杉山 圭以子	32
夏は祭りだ、祇園だ「インド」だ		
国際協力と出会う：ODAからNGOへ	教授 高橋 清貴	33
平和を紡ぐ人びと：カンボジアの人身売買		
軍隊って何ですか—韓国若者の兵役と平和	准教授 李泳采	34
「韓流」が伝えている現代韓国—東アジア文化共同体の可能性は?		
不思議発見!! 日本語の「世界」	准教授 川井 章弘	35
「説得する」ってどういうこと?会話を科学する		
オバマ大統領誕生の意味—異人種間の結婚という視点から考えるアメリカ入門—	准教授 漆畑 智靖	36
アメリカでインターネットを使った政治運動はどのように発展してきたのか		
100円ショップはなぜ安い?	准教授 堀 芳枝	37
タイのストリート・チルドレンとNGO—子どものエンパワーメントを目指して		
三国志をめぐる歴史と言説の射程	特任助教 田中 靖彦	38
中国の歴史書		

Contents

人間社会学部 現代社会学科

白クマの危機と台所の危うさを考える：気候変動と生物多様性という視点	教授 上村 英明	40
「平成狸合戦ボンボン」と「先住知」「伝統知」：近代と開発を再考する		
土のpHを測ってみよう	教授 片倉 芳雄	41
植物の養分(硝酸)吸収を調べてみよう		
ケータイ社会のあり方	教授 武田 徹	42
原発を巡る日本近代史		
やさいの時間－育種編－	教授 藤田 智	43
世界一受けたい授業－野菜編－		
ピーターラビットとトトロから考える自然保護－ナショナルトラストとは？	准教授 篠田 真理子	44
自然を利用して生活すること－多摩の「めかい」を体験してみよう		
懐かしい未来としての里山——人と自然が共生するモデルとして	准教授 松村 正治	45
エコツーリズムは環境を守り経済を豊かにするのか？		

人間社会学部 社会園芸学科

どの家庭もみな「厳父慈母」なの？～グリム童話から読み解く親子・家族関係の深層～	教授 大日向 雅美	47
こども虐待について考える		
心理学の基礎固めとしての“太極拳”	教授 齋藤 謙	48
乳幼児期の心理学と虐待		
食、農、環境をつなぐ命の教育	教授 澤登 早苗	49
新しい時代における農業、園芸の新しい役割		
Becoming an International Person	教授 DA SILVA, Dexter	50
Who Are You?		
おいしい果物を食べる－消費者と生産者の視点から－	教授 小林 幹夫	51
果物の食品機能性について－ブルーベリーは、なぜ目によいのか－		
心理学の考え方	准教授 喜田 安哲	52
身体イメージの心理学		
花の品種改良最前線～あなたならどんな花を咲かせたいですか？	准教授 樋口 幸男	53
植物の性、その驚きの世界		
消えゆく植物、変わりゆく風景	准教授 宮内 泰之	54
ランドスケープ・デザインについて		

2013年度出前講座実施実績	55
お申し込み方法	56
打ち合わせ書(FAX送付用紙)	57

講師派遣依頼書(FAX送付用紙)	58
キャンパス見学打ち合わせ書(FAX送付用紙)	59
キャンパス見学のご案内	60

[日本語日本文化学科]

Department of Japanese Language and Culture



日本の古典・近代文学を専門的に学ぶとともに、自ら表現するための能力を養う「文学・文芸創作」。歴史・美術・宗教などの視点から、日本の文化を多角的に学ぶ「日本文化」。何気なく使っている日本語を見つめ直すと同時に、日本語教員をめざす養成課程も用意された「日本語」。この3つの項目から、広く日本語日本文化を捉えていく学科です。

学びの
ポイント

日本語

何気なく使っている日本語を見つめ直すと日本人の認識パターンや思想の構図がわかり、それが文化や宗教と深く関わっていることまで見えています。日本語を学ぶことは、日本語能力を高めるとともに、日本の文化を見直すことにもつながります。また、外国人に日本語を教える日本語教員への道も準備しています。

文学・文芸創作

詩や小説を書きたい、自分を表現したい、という希望を持っている人は多いでしょう。でも、いい文章が書けるようになるには、過去のすぐれた表現から学び、言葉のセンスを磨く必要があります。日本の古典・近代文学を専門的に学ぶとともに、実践的な授業によって自ら表現するための能力も養います。

日本文化

まるで異文化のように感じられる昔の日本文化も、現代の日本と意外に深くつながっています。このコースでは日本文化を、歴史・美術・宗教などの視点から、多角的に学ぶことができます。幅広い基礎知識を学ぶとともに、自分の興味に従って、専門的に知識を深めていくことができます。

あきもと みはる

秋元 美晴

人文学部 日本語日本文化学科教授
大学院人文学研究科科長

E-mail makimoto@keisen.ac.jp

テーマ
1

どっさりオノマトペ

「キーッと車を止めたが遅かった。ガチャンと前の車にぶつかり、バンパーはペチャンコになってしまった。美穂がドーンと車のドアにぶつかると、バーンとドアが開き、美穂はボーンと車の外にほうり出されてしまった。」この文章の下線のことばはすべてオノマトペです。オノマトペを使わないで、この文章を書きなおすとどうなるでしょうか？日本語には、どっさりオノマトペがあります。（「どっさり」もオノマトペです）オノマトペはどういう役目を果たしているのでしょうか。他の単語とどういうところが違うのでしょうか。みなさんと考えてみましょう。

テーマ
2

名探偵コナンはなぜ大阪弁を話さないのか？

『ヴァーチャル日本語役割語の謎』の中から引用した[問題]です。次のa～hを話す人はどのような人でしょうか。A～Eの中から選んでください。

- | | | |
|--------------------------|-----|-----------|
| a. そうよ、あたしが知っているわ。 | () | ア お武家様 |
| b. そうじゃ、わしが知ってる。 | () | イ (ニセ)中国人 |
| c. そや、わてが知っとるでえ。 | () | ウ 老博士 |
| d. そうじゃ、拙者が存じておる。 | () | エ 女の子 |
| e. そうですわよ、わたくしが存じておりますわ。 | () | オ 田舎者 |
| f. そうあるよ、わたしが知ってあるよ。 | () | カ 男の子 |
| g. そうだよ、ぼくが知ってるのさ。 | () | キ お嬢様 |
| h. んだ、おら知ってるだ。 | () | ク 関西人 |

(金水敏『ヴァーチャル日本語役割語の謎』岩波書店2003)

前置きが長くなりました。名探偵コナンはa～hのどの話し方にちかいですか。なぜ、cの大坂弁を話さないのでしょうか。わかりますか。東京生まれだから？いいえ、そんな簡単な答えではありません。

高校でご用意いただく機器 特にありません

出講可能曜日 水・金曜日

教員Profile

略歴

- *青山学院大学文学部日本文学科卒業
- *青山学院大学大学院文学研究科日本文学・日本語専攻修士課程修了(文学修士)
- *青山学院大学大学院文学研究科日本文学・日本語専攻博士課程満期退学
- *上智大学外国语学部比較文化学科非常勤講師、惠泉女学園大学日本文化学科専任講師を経て、1997年より現職

担当科目

教養基礎演習、日本語教育概論、日本語基礎演習、日本語教育実習、日本文化特別演習、卒業論文(大学院)、多文化共生各論V(言語文化)

研究テーマ

日本語の語彙、第2言語としての語彙習得

研究業績

- *『よくわかる語彙』(単著)アルク 2002
- *『ことばと文化をめぐってー外から見た日本語発見記ー』(共著)
ひつじ書房 2006
- *『日本語教育探求法』(共著)朝倉書店 2007

佐谷 真木人

人文学部 日本語日本文化学科教授

E-mail saya@keisen.ac.jp



テーマ
1

『源氏物語』に見る女性の生き方

『源氏物語』には数多くの女性が登場します。それは、男性のキャラクターがあまり豊かではないことと対照的です。『源氏物語』の第一部・第二部が光源氏の生涯を描くという構想のもとに書きすすめられている一方で、多様な女性の生き方を描くという、もう一つの目的を持っているためと考えられます。女性たちは、平安朝貴族社会のさまざまな制約の中で、それぞれに困難や不安を抱えて生きています。そのような不自由さは、現代社会と無縁なものに感じられますが、現代でもさまざまな社会制度が個人の生き方に影響を与えているのは同じ、という面もあります。『源氏物語』の中の女性像を通して、女性の生き方について考えてみたいと思います。それは、恋愛とは何か、そして結婚とは何かという問題を考えるためのケーススタディとして、きわめて有効であるはずです。

テーマ
2

「聖地巡礼」と日本文学

近年、アニメやゲームの舞台のモデルとなった場所を実際に訪ねる「聖地巡礼」が盛んに行われています。これは、ごく最近の流行のようですが、実は文学作品とのかかわりで考えたとき、とても古い歴史を持っています。

文学作品に描かれた場所を実際に訪ねるという行為は、古くは和歌に詠まれた「歌枕」を訪ねたり、また、軍記物語などに描かれた旧跡を訪ねたりという形で行われてきました。たとえば松尾芭蕉の『おくのほそ道』の旅もまた、「聖地巡礼」が目的だったのです。

それは実際の宗教的な聖地を訪ねる巡礼行為とどこか重なり合いながら、文学と現実社会の関係を作りあげてきました。この講義では、私自身の「聖地巡礼」体験も交えながら、文学がどのように読まれたかという問題を考えていきます。

高校でご用意いただく機器

特にありません(資料を配布します)

出講可能曜日

月・水曜日

教員Profile

略歴

*慶應義塾大学文学部卒。慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。博士(文学)。
*恵泉女学園大学専任講師、恵泉女学園大学准教授を経て、2009年より現職。

担当科目

教養基礎演習、文学I、日本文学史I、日本語基礎演習III、日本語基礎講読III、日本文学演習I、日本文学課題演習I、日本文学研究I、日本文学特殊研究I、日本語特別演習IV、卒業論文、国語科対応演習I

研究テーマ

国文学・古典芸能史

研究業績

*『日清戦争 国民の誕生』(単著)講談社現代新書 2009
*『平家物語から淨瑠璃へ』(単著)慶應義塾大学出版会 2002
*『柳田国男 日本的思考の可能性』(単著)小沢書店 1996
*『民族の表象 歴史・メディア・国家』(共著)
慶應義塾大学出版会 2006
*『寺社縁起の文化学』(共著)森話社 2005 ほか

やまだ まさひろ

山田 昌裕

人文学部 日本語日本文化学科教授

E-mail yamada@keisen.ac.jpテーマ
1

アハ体験ができる文法

クイズ番組でおなじみの「アハ体験」、脳科学者の茂木健一郎先生によって広く知られるようになりました。実は文法という学問は「アハ体験」の連続です。

「悪事千里を走る」という諺があります。「廊下を走るな」と言われた人も多いでしょう。しかし「体育館を走る」は日本語の表現としてちょっとおかしいですね。「プールを泳ぐ」はちょっと変だけど、「第3コースを泳ぐ」はおかしくないですね。では、おかしいおかしくないと感じる基準は何でしょうか。誰かが「～を走る」「～を泳ぐ」の使い方を教えてくれましたか?知らない間に使い方が身に付いていたはずです。このような知らない間に身についた、隠された規則を見つける「アハ体験」が文法という学問なのです。文法は暗記するものではなく、誰かに教わるものではなく、本来は考える学問なのです。

「アハッ!」ってひらめくと嬉しいし楽しい、日本語にはそんな文法問題がごろごろしてます。是非文法の楽しさに触れてみて下さい。みんなで一緒に「アハ体験」をしてみましょう。

【問題例】

初級 「新宿行きのバスがあるよ」「でもタクシーいるから乗っちゃおうよ」、存在を表す「ある」と「いる」の使い分けってどうなってるの?

中級 「学校で(先生に／先生と)会う」の場合は「に」でも「と」でもおかしくないけど、「山で(熊に／熊と)会ったらどうする?」の場合は「と」がちょっと変。なぜ?

上級 北斗の拳の名ゼリフ、「お前はすでに死んでいる」、「ている」は継続を表します。でも「死んでいる」「始まっている」「座っている」の「ている」と、「笑っている」「食べている」「走っている」の「ている」は同じ継続でもどこかが違う。一体何が違うんだろう。またその違いの原因ってどこにあるの?

高校でご用意いただく機器

特にありません

出講可能曜日

火・金曜日(場合によっては他の曜日も可)

教員Profile

略歴

- *早稲田大学教育学部国語国文学科卒業
- *早稲田大学大学院文学研究科修士課程日本文学専攻修了
- *青山学院大学大学院文学研究科博士後期課程日本文学日本語専攻満期退学博士(文学)
- *南ソウル大学専任講師、惠泉女学園大学准教授を経て、2012年より現職

担当科目

教養基礎演習、日本語基礎演習、日本語演習、日本語課題演習、日本語能力I・II、日本語文法I・II、日本語概説、日本語研究III、卒業論文

研究テーマ

日本語文法(特に主語表示の歴史的研究)

研究業績

- *『格助詞「ガ」の通時的研究』(単著)ひつじ書房 2010
- *『みんなの日本語事典——言葉の疑問・不思議に答える——』(共著)明治書院 2009
- *『源氏物語の文法講座』『人物で読む源氏物語』第1巻～第20巻所収(共著)勉誠出版2005年～2006年
- *『主語と助詞』『ケーススタディ 日本語の歴史』所収(単著)おうふう 2002年

しのざき
篠崎 美生子

人文学部 日本語日本文化学科教授

E-mail mioko@keisen.ac.jp



テーマ
1

21世紀の「坊ちゃん」

書かれてから100年あまりたった夏目漱石の「坊っちゃん」。明るくてすかっとする小説だと思っていませんか?でも小説をよく読むと、彼の威勢のいい言葉とはうらはらに、孤独で自信のない青年の姿が浮かび上がります。

小説は面白い。まるであぶり出しのように、全く異なる物語を私たちの前に見せてくれたりします。その楽しみを皆さんに知っていただけたらと思います。

孤独な坊っちゃんの姿を見つけたら、今度は、どうして今までの読者が、痛快な坊っちゃん像を好み、その姿に感情移入してきたのかと一緒に考えてみましょう。

テーマ
2

さらば、マザコン文学

小説の中には、やさしいお母さんがよく出でますね。芥川龍之介の「杜子春」にも、息子のために身をすべてかえりみないお母さんが出でます。

——でも、お母さんっていつでも無条件にやさしいものなの?

調べてみると、やさしいお母さんが出でくる小説が増えるのはわずか100年前だと言うことがわかります。お母さんと子どもの葛藤を描くマンガや映画や小説が、20年ぐらい前から続々と登場していることもわかります。

小説やマンガや映画には、その時代の人々が、女性に求める生き方が表れています。「お母さんはやさしいもの」という私たちの思いは、もしかすると社会の思い込みの反映なのかも知れません。

この講座を通じて、少しだけ、常識を疑ってみることにしましょう。

高校でご用意いただく機器

できれば、パワーポイントを使用したい。

出講可能曜日

(月)・水・土曜日

教員Profile

略歴

1997年、早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。跡見学園女子大学短期大学部・大東文化大学・早稲田大学等で非常勤講師を勤め、2004年から現職。

担当科目

日本近現代文学関係:「教養基礎演習I」「日本語基礎演習IV(文学)」「日本文学研究II」「日本文学演習II」「日本文学特殊研究II」「日本文学課題演習II」「卒業論文」

教職課程関係:「国語科基礎演習II」「国語科応用演習II」「総合演習」

研究テーマ

日本近現代文学。特に芥川龍之介ほか、1920年代の小説について。

また、近現代小説とナショナリズム・ジェンダーの関係について。

研究業績

*岩波書店『芥川龍之介全集』(2007年新版刊行中) 11巻注解・24巻人名索引

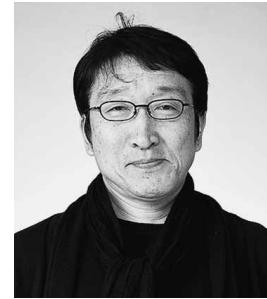
*翰林書房『日本文学コレクション芥川龍之介』(翰林書房2004.5) 庄司達也と共編

*『「こころ」——闘争する「書物」たち』(「日本近代文学」1999年5月、クレス出版『夏目漱石「こころ」作品論集』2001年4月に再掲載)

はやし こうへい
林 浩平

人文学部 日本語日本文化学科特任教授

E-mail k_hayashi@keisen.ac.jp



テーマ
1

詩の世界の魅力——〈朗読〉を通して詩と出会う

詩の世界には、なかなか馴染みが無いひとが多いでしょう。しかし、われわれが使う言葉というものが、いちばん不思議なパワーを発揮するのは、詩においてです。詩の表現には比喩や省略がつきものなので、理解するのが難しいという印象を抱きがちです。けれど、詩の言葉を、朗読された声を通して享受してみましょう。言葉の持つひびきやしらべ、つまり「音韻」の要素をしっかりと聴きとって、それからその言葉が導くイメージの世界を頭のなかに展開させましょう。すると、面白いことに、短い詩の行のなかから生き生きした音楽と物語の世界がたち現れるはずです。

この授業では、〈朗読〉による詩の言葉の「読みとり」のレッスンを目指します。

テーマ
2

川柳(せんりゅう)を作ろう——文芸創作入門

川柳とは、俳句と同じ5音7音5音の定型を持つ短詩表現ですが、俳句が季節の情緒や人間の感情の機微を表わすことが主眼であるのに対して、川柳の場合は、季節を表わす季語の約束ではなく、その世界はもっぱら愚かな固定観念を風刺したり、硬直した発想を揶揄したり、奇抜な発想で滑稽感を表現したりするものです。気軽に感じで575と音数を数えながら川柳作りに挑戦しませんか。

高校でご用意いただく機器

①ではCDプレーヤー。②は特にありません。

出講可能曜日

月・火・(水)・土曜日

教員Profile

略歴

東京大学法学部卒業。早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得。東横学園女子短大助教授を経て、2008年より現職。かつてNHKでディレクター、及びNHK総合テレビ番組「ナイトジャーナル」(1993~94年)で火曜日キャスターを務める。

担当科目

日本語表現(文芸創作)、日本語研究(日本語表現)、日本語基礎演習(文学)、卒業論文演習(卒業制作) など

研究テーマ

日本近代文学研究(萩原朔太郎などの近現代詩の研究が中心)
詩など文芸作品の創作
現代の芸術論

研究業績

- *詩集『心のどこにもうたが消えたときの哀歌』(書肆山田)
- *詩集『光の揺れる庭で』(書肆山田)
- *評論集『テクストの思考—日本近現代文学を読む』(春風社)
- *評論集『裸形の言ノ葉』(書肆山田)
- *平凡社新書『折口信夫 灵性の思索者』
- *自作朗読CD本『やさしい現代詩』(共編著・三省堂)
- *評論集『生きのびろ、ことば』(共編著・三省堂)
- *講談社選書メチエ『ブリティッシュ・ロック 思想・魂・哲学』など

たけだともこ
武田 知子

人文学部 日本語日本文化学科特任講師

E-mail takedato@keisen.ac.jp



テーマ
1

日本語表現力 UP !

「自己紹介」、初対面の場面で必ず行われますが、みなさんはどんなことを話していますか。英語など外国語教育では、話す練習が行われますが、日本語ではどうでしょうか。日本人なんだから日本語が話せて当たり前、本当にそうでしょうか。いざ、話す場面になると、緊張して何を話せばいいのか分からなくなってしまう、そんなことはないですか。クラスでは練習を通じて、話すコツをつかんでいきます。自分を表現する力を身につけて、自信を持って話せるようになります。

テーマ
2

コミュニケーション上手は聞き上手

小遣いが少ないのでアルバイトをしたい、しかし両親はアルバイトを禁止している。そんな状況の時、あなたはどうしますか。こっそりアルバイトをしますか、それとも両親と話し合いますか。人生では、自分と相手の望みが異なる場面が多くあります。このように意見が対立する場面では、相手の話をよく聞くことが肝心だと言われています。相手の話をよく聞いて、そのうえで自分の希望を効果的に伝える。上手にコミュニケーションを取る方法を一緒に考えましょう。

高校でご用意いただく機器

特にありません(資料を配布します)

出講可能曜日

火・金曜日

教員Profile

略歴

*恵泉女学園大学卒業
*お茶の水女子大学大学院人間文化研究科言語文化専攻修了
*国際協力機構(JICA)日系社会青年ボランティア、韓国新羅大学講師を経て、2005年より現職

担当科目

教養基礎演習、日本語I~III、日本事情、日本語能力I、日本語教授法II、日本語基礎講読I(文字・表記・語彙)

研究テーマ

日本語教育、日本語教授法、日本語教師教育、日本語授業研究

研究業績

*「大学における留学生教育－恵泉女学園大学の場合－」『恵泉女学園大学紀要』第18号 恵泉女学園大学(2006年)
*「留学生の批判的思考能力育成を目指したディベート活動」『恵泉女学園大学紀要』第20号 恵泉女学園大学(2008年)
*「日系日本語指導者養成の試みと今後の課題」『継承日本語教育センター研究紀要』Vol.4 財団法人海外日系人協会 継承日本語教育センター(2009年)

吉岡 拓

人文学部 日本語日本文化学科特任助教

E-mail t-yoshioka@keisen.ac.jp



テーマ
1

苗字と名前の歴史

私たちは皆、何らかの「苗字」と「名前」を持っています。たとえ自分の好みではなくても、その苗字と名前を変えることは容易ではありません。考えてみると、何とも理不尽な話です。

では、このような特徴を持つ苗字と名前とは、いつ頃から、どのような理由で用いられるようになったのでしょうか？公的な文書では苗字を「姓」ないし「氏」と表記することが多いですが、これらの言葉は本来同じ意味なのでしょうか？一般に、明治維新になって庶民ははじめて苗字を持つようになったと言われていますが、これは本当なのでしょうか？

この授業では、上に記したような問題に答えていきながら、私たち一人一人の人生を大きく規定する苗字と名前というものが産まれた歴史について考えていきます。

テーマ
2

新選組はなぜ生まれたのか

幕末の京都、戊辰戦争で活躍した新選組は、1960年代に司馬遼太郎や池波正太郎といった人気小説家が作品の題材として以降、老若男女を問わず多くのファンに愛されてきました。下級武士、あるいは武士ではありませんった人々が、滅びゆく幕府のために懸命に闘った、というストーリーが、歴史にロマンを求める人々を惹きつけてやまないのでしょう。しかし、では身分制社会であった江戸時代に、なぜ彼らのような人々が活躍することができたのでしょうか？新選組隊員たちには剣術の達人が多かったと言われていますが、武士身分でなかった隊員が剣術を身に付けることができたのはなぜなのでしょうか？

この授業では、上に記したような問題に答えていきながら、新選組という集団が江戸末期の時代に産まれた理由を考えていきます。

高校でご用意いただく機器

特にありません

出講可能曜日

水(春学期のみ)・金・土曜日

教員Profile

略歴

1978年生。慶應義塾大学文学部卒業。同大大学院修士課程修了、同博士課程単位取得退学。
茨城大学・慶應義塾大学・中央大学非常勤講師、日本学术振興会特別研究員を経て、2014年より現職。

担当科目

日本の歴史・文化に関する科目

研究テーマ

天皇制・近世～近現代民衆史・明治維新史

研究業績

『19世紀民衆の歴史意識・由緒と天皇』(校倉書房、2011年)ほか

[英語コミュニケーション学科]

Department of English Communication



グローバル化の進む21世紀において、国境や民族、文化を越えて世界と語り合うことのできる真のコミュニケーション能力を持つ人材の育成をめざし、総合的な英語コミュニケーション能力の向上を図る学科です。文学や演劇を中心とした英米の言語芸術、英語教員をはじめとして、児童・生徒への英語教育のための知識や技能についても学べます。



学びの
ポイント

英語コミュニケーション

実際の社会や生活に即した英語コミュニケーション能力を習得するとともに、通訳・翻訳の理論や方法論を学び、高度な英語表現技法を身に付けることをめざします。

英語文芸

イギリス文学、アメリカ文学、英米の演劇などを中心に、じっくりと言語芸術を学びます。

英語教育

中学・高校の英語教師をはじめとして、児童・生徒に英語を教えるための知識・技能の修得をめざします。



えのもと まりこ 榎本 真理子

人文学部 英語コミュニケーション学科教授

E-mail



テーマ
1

『ハリー・ポッター』の世界——イギリス文化入門

「イギリスの学校ってどんな風?」「ホグワーツ行きの出る3と3/4番線は実在した?」「houseelfって何?」「イギリスではトマトは買えない?」「Queen's Property(女王の財産)って何?」「Teaを逃すと夕飯は抜き?」「ダイアナさんてどんな人だったの?」などなど、『ハリー・ポッター』の背後にあるイギリス文化を身近な疑問から見ていきます。

テーマ
2

『苦海浄土——わが水俣病』とは

我が国初の公害病である水俣病とその裁判記録として取り上げられることの多い『苦海浄土』には何が書かれているのか。また最近「単なる記録にはとどまらない」として評価されているのはどういう点なのか。日本の文学からただ一つ取り上げられて「世界文学全集」に入ったのはなぜか。700頁に及ぶ『苦海浄土』の世界をコンパクトにご紹介します。

高校でご用意いただく機器

DVD再生機、PC(準備が可能であれば)

出講可能曜日

火・金曜日

教員Profile

略歴

津田塾大学大学院文学研究科博士後期課程修了。
1985年より惠泉女学園勤務、1999年より現職。1981-82年イギリス、ケント大学大学院で学ぶ。1993-94年イギリス、ケンブリッジ大学客員研究員。

担当科目

文学、イギリス文学史、イギリス文学に関するゼミ、英文講読、英文作文

研究テーマ

『ドラキュラ』、『フランケンシュタイン』等モンスターもの、意識の流れの作家、Virginia Woolfの日記、「苦海浄土」

研究業績

*著書『イギリス小説のモンスターたち』(彩流社)
*訳書『震える山』(法政大学出版局)
*「世界文学としての『苦海浄土』——石牟礼とウルフ」

クウォック セオドア
QUOCK, Theodore Howard

人文学部 英語コミュニケーション学科教授

E-mail thq@keisen.ac.jp



テーマ
1

Music and Language: English through music for all levels

Everybody loves music, but music is not just for entertainment. Music is a form of communication. Humanbeings communicate in various ways, and music is different from conversation, writing an e-mail message, and other forms of communication. Some people like music for dancing, some people like music for relaxing, and some people like music for background noise when they study or eat. If you can understand the words and messages of English songs, maybe this lesson can give you a new reason to like music !

テーマ
2

Western Humor: Learning language and culture through humor

Human beings are different from most other animals because we use language to communicate with each other, we have emotions, and we have a sense of humor. But there are various kinds of humor, and different people react to humor in different ways. In this class we will look at some basic kinds of humor and how you can use humor to learn about not only the language but also the culture of other countries.

高校でご用意いただく機器	テーマ①:i-Podが接続可能なオーディオ端子付きTV モニター テーマ②:ビデオプレイヤー、接続可能なTV モニター	出講可能曜日	金・土曜日の朝、 木・日曜日も可能な場合あり
--------------	--	--------	---------------------------

教員Profile

略歴

ACADEMIC BACKGROUND
 *San Francisco State University
 M.A.(English: Language Studies) 1982
 *University of San Francisco
 B.A.(English) 1973

PROFESSIONAL BACKGROUND
 *Keisen University, Tokyo
 April 1995 - Current(Professor)
 *University of Tokyo, Komaba Campus
 April 1997 - Current(Part-time)
 *Teachers College Columbia University, Tokyo
 September 1990 - Current(Part-time)
 *Simul Academy, Tokyo
 April 1985 - October 1994(Program Director)

担当科目

1. In general: Required English for 1st-year students and 2nd-year students in all departments.
2. In 2011-12: Eigo III, Eigo IV, Eigo V, Kyouyou-kiso enshuu

研究テーマ

I have always been interested in using authentic media in language teaching because it comes from real life and it is what students use and are already interested in — I have always used media such as movies, music, TV news, and literature in my classes and have taught courses based on topics like "Music as a Form of Communication," "Literature and Film," and "Western Humor."

研究業績

- *Japanese learners of English in the new millennium(2003), Proceedings of the 16th Australian International Education Conference(IDP:Sydney)
- *The role of humor in the EFL classroom in Japan(2007), Keisen Jogakuen University Bulletin Number 19.
- *Laughing matters: On the theory and teaching of Western Humor, and how it can be utilized in the EFL/ESL classroom (2007), JALT 2006 Conference Proceedings.
- *The healing power of mistakes(2010), 31st Tokyo ELT Expo & Book Fair



ケン

フジオカ

Ken Fujioka

人文学部 英語コミュニケーション学科教授

E-mail fujioka@keisen.ac.jpテーマ
1

元気がでる英語。ヴィデオを使って communication

あなたは 英語が 話せますか？ 上手になりたいと思いますか？
ヴィデオ を使って 上達のアドバイス を教えます。

Students will communicate in English by watching a video. On the video, there will be some scenes which you will describe in English.(Don't worry about grammar or vocabulary mistakes! The teacher is very friendly.) You will be able to construct simple English sentences without the use of a textbook or dictionary. Let's enjoy English !

テーマ
2

英語で説明してみよう！わかつてもらう英語 communication

「まねきねこ」を英語で説明出来ますか？ スキルを身につけてあなたのコミュニケーション能力を高めましょう。

Students will learn how to explain Japanese cultural information to one another in English. You will learn some simple techniques for communication and also learn new vocabulary.

高校でご用意いただく機器	テーマ①:ヴィデオテーププレーヤー & 黒板 テーマ②:黒板
--------------	-----------------------------------

出講可能曜日	金・土曜日
--------	-------

教員Profile

略歴

*ナイジェリア生まれ。トルコ、日本（小学校）、インドネシア（中学校）、ブラジル（高校）、タイ（高校）、アメリカ（大学）
*1980年12月マリエッタ カレッジ（石油工学）
*1986年5月サウスウェスタンバプテスト神学校（神学）
*1990年8月カリフォルニア州立大学（言語学）
*1990年7月ランゲージインスティテュートオブジャパン（LIOJ）（日本外語教育研究所）教師
*1994年7月ランゲージインスティテュートオブジャパン（LIOJ）（日本外語教育研究所）校長
*1996年4月国際基督教大学 教師
*2000年4月恵泉女子学園大学 助教授
*2007年4月恵泉女子学園大学 准教授
*2010年4月恵泉女子学園大学 教授

担当科目

一年 教養基礎演習 Introduction to College English Skills
二年 英語コミュニケーション 実践 American Society through Video/Media Literacy
セミナー Japanese American Journey
三年 英語コミュニケーション実践応用 Understanding Cultural Differences I and II
セミナー A closer Look at the Internment of Japanese
四年 ゼミナー Preparation for Graduation Thesis

研究テーマ

日系アメリカ人の歴史、留学生の英語

研究業績

*Motivating Learners through a Study Abroad Program
*Nikkei Perspectives- Emerging Narratives
*Language and its Impact on the Nikkei during the Internment Years
*Developing Learner Autonomy through Curricular Choices
*Integrating Project Work in the EFL classroom

ときわ 美穂

常葉 美穂

人文学部 英語コミュニケーション学科准教授

E-mail m-tokiwa@keisen.ac.jp



テーマ
1

教育の哲学を考えてみよう

哲学にどんなイメージを持っていますか？「難しい」「とつつきにくい」「細かいことにこだわる」「答えが出ない」「机上の空論」…そう思ってしまいがちなのにも一理あります。しかし哲学と私達が生きること・行動することとの間には深いつながりがあり、教育の分野でも「教育は何を目指して行われるべきか？」という問いをめぐって様々な議論や論争が行われてきました。その一端に触れることで、教育の哲学について学んでみましょう。

テーマ
2

学校以外での教育と学び

子どもを対象にした学校教育ばかりが教育ではありません。公民館、美術館・博物館、保健センター、市民の自主グループ、等々、社会の中の様々な場で大人の人たちの学びが行われています。そうした「生涯学習」「社会教育」の分野（英語ではadult and community educationなどと訳されます）の実例に触れることで、もっと柔軟な「教育」のとらえ方を知ってみませんか。

高校でご用意いただく機器	テーマ①:なし テーマ②:ビデオ・DVD デッキ
--------------	-----------------------------

出講可能曜日	月・土曜日
--------	-------

教員Profile

略歴

*University of Nottingham, School of Continuing Education(M.Phil)
*お茶の水女子大学大学院人間文化研究科人間発達専攻修了(博士)
*2011年4月より現職

担当科目

英語教育演習(英米の教育思想)、教育実習I・IIなど

研究テーマ

教育哲学・理論、生涯学習・社会教育を含めた学習支援

研究業績

*「変容的学習－J.メジローの理論をめぐって」赤尾勝己編著『生涯学習理論を学ぶ人のために』世界思想社、2004年、p.87-114
*「『成人』の学習論再考－メジロー理論の中の『女性の学習』に注目して」日本社会教育学会編『成人の学習』東洋館出版社、2004年、p.85-97、ほか。



田島 千裕

人文学部 英語コミュニケーション学科専任准教授

E-mail tajima@keisen.ac.jp



テーマ
1

英語コミュニケーション能力とは何か

英語力といえば、主に単語力や文法力を想像されることでしょう。ただ、英語を使って他者とコミュニケーションを行うには、単語力と文法力に加えて、談話能力、方略的能力、社会言語学的能力も必要になります。この五つの能力が揃っていると、高い英語コミュニケーション能力が備わっている、ということになります。

この出前講座では、1) 講義やグループ活動を通して、特に社会言語学的能力について学び、2) 英語コミュニケーション能力への理解を深めます。

テーマ
2

海外留学準備英語科目の体験

中学校と高校で学んだ英語力をさらに磨くために、大学では海外留学をしたいと考えている皆さんも多いと思います。留学の準備としては、ある程度の英語力を備えておくことに加え、英語圏文化のコミュニケーションのルールを知っておくことが重要です。

この出前講座では、1) 大学で行っている留学準備英語科目の体験授業を通して英語コミュニケーションの練習を行い、2) 日本文化と異なる英語圏文化で送るホームステイ生活について考えます。授業は英語で行います。

高校でご用意いただく機器	パワーポイント使用のため、プロジェクターとパソコンにつなげるケーブル。CDプレーヤー。
--------------	---

出講可能曜日	月・水曜日
--------	-------

教員Profile

略歴

*(米国)ペンシルベニア州立テンプル大学大学院
教育研究科英語教授法学修士課程修了 修士号
(M.Ed.)
*国際基督教大学大学院 教育学研究科英語教育方法学博士後期課程修了 博士号(Ph.D.)
*桜美林大学専任講師、立教大学専任教育講師を経て、2013年より現職。

担当科目

一般英語科目類、英語現地実習(留学準備英語)、異文化コミュニケーションなど

研究テーマ

英語教育、異文化教育、留学研究、英語コミュニケーション情意、混合研究法

研究業績

- *Tajima, C.(2013). Japanese Learners of English in a Study Abroad Context: Outcomes, Language Contact, and Proficiency Gain. Doctoral Dissertation. International Christian University, 269 pp.
- *Tajima, C.(2012). Internationalizing universities and students: Study abroad programs at Japanese universities. Theory of Information Culture, 10, 88-107.
- *Tajima, C.(2012). Factors affecting language gain during study abroad: A study on homesickness. Obirin Language Education Research and Development, 8, 105-123.
- *Tajima, C.(2011). English language anxiety in learners during study abroad: Language use in homestay context. Obirin Language Education Research and Development, 7, 79-97.
- *Tajima, C.(2010). The effect of study abroad context on language skill gains. Theory of Information Culture, 9, 58-72.
- *田島千裕(2003)『コミュニケーション論』情報文化研究会(共著)

メズルール
ジエルマン
MESUREUR Germain
人文学部 英語コミュニケーション学科特任助教

E-mail germain@keisen.ac.jp



テーマ
1

Recycling(リサイクル)

In this class, we will use English to learn about recycling. Student will be asked to fill in a short questionnaire about their family's recycling habits, and the class's result will be compared to the national and international averages. We will then learn about some interesting and unusual recycling projects, and students will work in small groups to imagine ways of recycling more, before reporting their ideas to the class.

テーマ
2

Biological Interactions(生物相互作用)

In this class, we will use English to learn about the interactions between animals and plants. All living organisms on Earth need to interact with their environment in order to live. Nearly all species also interact with other species, through competition, predation, symbiosis, etc. Organisms have evolved some incredible adaptations for these interactions. Students will discover the various types of interactions, watch examples, then work in small groups to guess the type of interaction between selected species, before reporting their findings to the class.

高校でご用意いただく機器

テーマ① to ②ではテレビやプロジェクター

出講可能曜日

火・木・金曜日

教員Profile

略歴

*恵泉女学園大学、東京農業大学、東京薬科大学、早稲田大学、共立女子大学の3年間を過ごす。
*2006. Postgraduate Certificate in Applications of Learning Technologies. University of East London.
*2004. Masters in Scientific and Technical Translation with Translation Technology. Imperial College, London.
*2004. Postgraduate Certificate in Learning and Teaching for Higher Education(PGCE LTHE). University of East London.

担当科目

English 1 and 2(general English classes)

研究テーマ

Extensive Reading, Using cloud computing as a teaching and learning aid.

研究業績

*Firth, M. & Mesureur, G.(2010) Innovative uses for Google Docs in a university language program. JALT CALL Journal 6(1) April 2010.

*Mesureur, G.(2010) Using L3 mini lessons in the L2 classroom. The Language Teacher.(Accepted)

*Google Forms as a Teaching And Learning Tool In Multi-Skills Courses. Presented at the Tokai / JALT Professional Development Symposium 2010

〔歴史文化学科〕

Department of History and Culture



歴史文化学科は、文化の空間的な広がりや時間的変遷を訪ねる「知的冒険」への入り口です。欧米を中心にさまざまな国の文化や歴史を、多くの海外現地実習プログラムと豊富な講義科目を通して学び、自分とは違う価値観や世界観をもつ〈他者〉と向き合うことで、より深い自己理解への到達をめざします。国や民族といった境界を越え、美術、宗教学、哲学といった切り口から異文化理解を深められるのが特長です。さまざまな角度から学ぶことで、真の国際的教養を育んでいきます。

学びの
ポイント

歴 史

人間が残してきた足跡のなかに、文化の持続と変遷を探り、〈時間〉をさかのぼり、根源に立ち返ることで、人間の真実を見つめます。社会史、思想史、美術史、文学史、宗教史などを学ぶことができます。

地 理

〈空間〉を見渡す地理学的観点を身につけて、地域文化の特徴と相互交流を分析し、人びとの暮らしの息づく景観を読み取ります。ヨーロッパ、南北アメリカ、東アジアの地域について学ぶことができます。

倫理・芸術

〈時間〉と〈空間〉を超えて、自分とは何か、人間とは何かを考えます。「善く生きる」ということ、「宗教」と人間文化の関わり、「美」の表現方法などを探求します。

いわむら たろう
岩村 太郎

人文学部 歴史文化学科教授

E-mail taro@keisen.ac.jp



テーマ
1

ユダヤ人にビザを発給した杉原千畝の生涯

第二次大戦中、リトアニアの首都カウナスの日本領事代理であった杉原千畝は、ナチスドイツに追われポーランドから逃れようとしていたユダヤ難民に、命のビザを発給した。このビザを手にした6千人から8千人のユダヤ人は、リトアニアからモスクワへ行きシベリア鉄道に乗り、ウラジオストックから日本を経由して逃れた。しかし当時の日本はドイツと同盟関係にあり、ビザの発給を許さない。このとき首を覺悟して杉原千畝は独断でビザを発給する。

テーマ
2

プラトンの愛の起源の神話

人はなぜ人を愛するかという根本的問い合わせに対して、心理学的にはその答えは「まず自分が他人から無条件で愛されたから、自分から愛するようになる」というものです。一方プラトンはその著『饗宴』の中で愛の起源の哲学的神話的説明をしています。もともと人間は今の倍の形をしていた、しかしぼウスがねたんで半分に切り裂いた、そして今の姿になった。だから人間は一生、元の片方を追い求める。このエネルギーをギリシア語でエロースと言います。

高校でご用意いただく機器 なし

出講可能曜日 火・金曜日

教員Profile

略歴

慶應義塾大学博士課程修了、エдинバラ大学大学院
神学部修了

担当科目

哲学、キリスト教学入門、道徳教育の研究

研究テーマ

現代における倫理学とキリスト教

研究業績

論文「ティリッヒ神学の批判的継承と発展」「杉原千畝とロシア正教」など

かわど
川戸 れい子

人文学部 歴史文化学科教授

E-mail rkawado@keisen.ac.jp

テーマ
1

小説から何が見える？

ドイツ文学と聞くと、何だか堅苦しく、難しそうだと思うかもしれません。しかし、読み方によっては、色々なことが見えてきます。例えば20世紀初めの裕福なドイツの家庭では、朝ご飯が2回あって、お昼ご飯を午後4時頃に食べていたとか、同じく20世紀初頭の自転車の値段は、1カ月分の給料の2倍だったなど、社会の様子が分かります。ちょっと変わった文学してみましょう。

テーマ
2

『グリム童話』は童話ではない！？

グリム「童話」と言えば、誰でも1つや2つは知っています。「童話」の部分はドイツ語で「メルヘン」なのですが、実はメルヘンは童話ではありません。そして『グリム童話』はグリムさんが書いたものでもないのです。また、ディズニー映画にもなった『シンデレラ』は何となくグリム童話の1つだと思われていますが、実は違います。じゃあ、『グリム童話』っていったい何？その謎に迫ってみましょう。

高校でご用意いただく機器

特にありません

出講可能曜日

火曜日午後、金曜日午前。

教員Profile

略歴

1951年東京生まれ。大学院在学中に国際交流制度派遣留学生として西独(当時)チュービンゲン大学に留学。博士課程後期課程単位取得後、帝京大学専任講師となり、1988年より恵泉女学園大学助教授。後、教授。

大学生時からYWCA活動に関わり、現在は公益財団法人東京YWCA代表理事。

担当科目

世界史(ヨーロッパ)、ドイツを中心とした、ヨーロッパ文学、文化に関する科目

研究テーマ

文学作品における時間と空間、ドイツの文学と社会

研究業績

*「トマス・マンの『ブッデンブローク家の人が』における“fremd”概念について」2009 恵泉女学園大学紀要第22号
*「河井道と世界—『明治の女子』／『女子青年界』における言説から—」2009 恵泉女学園大学 平和文化研究所研究報告

ささお みちよ 笹尾 典代

人文学部 歴史文化学科教授

E-mail sasao@keisen.ac.jp



テーマ
1

500年前の世界に、150年前の日本に「宗教」はまだなかった?! —現代日本人の「宗教」観の素性—

「宗教とは何か?」とあらたまて問われると答えに詰まる人も、「○○集団は宗教か?」と問われれば、「宗教だ」「宗教ではない」「偽宗教だ」と答えられるものである。このように「宗教とは何か?」について社会には一般的な共通了解というものがあり、私たちはそれを習わずして知っている。今日、多くの日本人は宗教についてあまり深く考えたがらないし、宗教とは無関係で生きていると思っている。しかしその一方で、正月初詣やお盆・お彼岸の墓参り、七五三、結婚式、葬儀など仏教・神道・儒教・キリスト教その他が入り混じった年中行事の中で日々生活している。グローバル化が進行する現代世界でも、もはや宗教を無視して生きていくことは難しい。この授業では、まず私たち現代日本人の「宗教」についての共通了解、「宗教」観を意識化することから始めたい。そしてその素性を、500年前に近代西欧で誕生した「religion(宗教)」という概念と言葉の日本への導入の事情から紐解いて考える。

テーマ
2

「聖地」—なぜ人は惹きつけられるのか

古今東西、人類はつねに「聖地」と呼ぶ特別な空間を見出してきた。近年、この日本でも「聖地巡礼」が流行っている。四国遍路や熊野古道歩きといった伝統的な「聖地巡礼」ばかりでなく、オタクの聖地「アキバ」をはじめ『らき☆すた』『エヴァンゲリオン』といったコミックや映画、アニメ、小説の舞台となった場所など、いわゆる「サブカル聖地」が次々に新しく生まれている。なぜ人は特定の場所を聖地化するのだろうか。なぜ人は「聖地」に向かうのか。この授業では、世界の「聖地」をいくつか具体的に取り上げながら、特定の場所を「聖地」として意味づけざるをえない人間の宗教的な時空間体験について考える。

高校でご用意いただく機器

VHS(もしくはDVD)プレイヤー・モニター

出講可能曜日

月・火曜日

教員Profile

略歴

ボストン大学教養学部卒業後、同大学大学院宗教学・神学研究科修士課程〔M.A.〕、筑波大学大学院博士過程哲学・思想研究科〔文学修士(宗教学・比較思想学)、博士(文学)〕、筑波大学大学院地域研究研究科助手、恵泉女子大学専任講師、助教授を経て、2007年より現職

担当科目

宗教学、比較宗教学論、文化領域基礎研究I(宗教・キリスト教)、文化学基礎演習III(宗教と生活)、文化領域研究II(宗教文化)、[大学院]宗教文化特論など

研究テーマ

民衆宗教研究、ラテンアメリカの宗教文化、文化接触と他者認識、暦と時間・歴史認識

研究業績

- *『宗教史叢書8 太陽神の研究(上)』(共著)リトン社、2002
- *『世界の民衆宗教』(共著)ミネルヴァ書房、2004
- *『宗教学入門』(共著)ミネルヴァ書房、2005
- *“‘San Simon,’ God Passing Boundaries: Ethnic Identity and Boundary Dynamics in ‘Contact Zone’ of Postcolonial Guatemala”『恵泉女子大学紀要』第19号、2007



すぎやま けいこ 杉山 恵子

人文学部 歴史文化学科教授

E-mail sugibe@keisen.ac.jp



テーマ
1

兵士の試験を受けてみる?—さまざまな史資料に挑戦!

第一次大戦を前にアメリカ合衆国の兵士たちが受けた試験を私たちも受験してみましょう。鉛筆に不慣れ、英語ができない、近代文明に触れたことのない人たちはことごとく最下位となり、前線に送られました。漫画にも目を向けてみましょう。1950年代、黒人差別の撤廃を待ち望んだアフリカ系の人たちの新聞には、「突破口」や「悪を懲らしめる」イメージに原爆のモチーフが使われました。文化の違いを越えて歴史の史資料を考える機会にしたいと思います。

テーマ
2

一枚のアメリカ絵画から—アメリカの人種、階級、男女関係をさぐる

愛らしい子供たちを囲む豊かな家族の絵画から19世紀のアメリカ社会を読み解きます。東洋趣味の壺や絨毯はいったいどこから来たのでしょうか。親子関係や女性の地位、遊び文化に影を落とす人種の問題も見えてくることでしょう。どうして人々が家族絵画を飾りたかったのか、画家たちの動きも当時の文化を考える上で重要です。メトロポリタン美術館の重要な一枚、アメリカ合衆国の美術館の役割にも目を向けたいと思います。

高校でご用意いただく機器

①、②ともなし、コピーを配布する予定。

出講可能曜日

火・金曜日

教員Profile

略歴

津田塾大学卒業後、アメリカ、マサチューセッツ州スミス女子大学(アメリカ研究)、ニューヨーク州コロンビア大学院史学科(アメリカ史)で学ぶ。1988年、恵泉女学園専任講師、同助教授を経て、現職。

担当科目

アメリカ合衆国の歴史・文化に関する科目

研究テーマ

アメリカ合衆国の歴史・文化、19世紀

研究業績

著書

*『ジェシー・ターポックス・ビールズのアメリカ——写真が映し出した世紀末のアメリカ』(単著)、慶應義塾大学出版会、2011。

*『原典アメリカ史 第8巻』(共著)、アメリカ学会編 岩波書店、2006。

*『英米文化の光と陰』(共著)、彩流社、2001。

論文

*『エレン・N.ラモットとその時代——看護の中の「隔離」と「混血」』、『津田塾大学言語文化研究所報』、第20号、2005。

*“Gender and Race in Nursing”, The Japanese Journal of American Studies, No.17, Tokyo: American Studies Association, 2006.

*“Transformation of Kate Sanborn--Humor as a Prescription to Face a Vanishing America”,『恵泉女学園大学紀要』第21号、2009。

*“Poultney Bigelow at the Turn of Nineteenth Century America--Imperialism, Colonialism and Race”,『恵泉女学園大学紀要』第22号、2010。

たかはま としゆき
高濱 俊幸

人文学部 歴史文化学科准教授

E-mail takahama@keisen.ac.jp



テーマ
1

タイタニックー船上のイギリス社会

「伝統」の国イギリスは、同時に「階級社会」の国でもある。階級はさまざまな場面で見られたが、船の上にもあった。映画『タイタニック』(1997年)では、ジャックは助からなかったのに、ローズは生きのびた。何故そうだったのか。タイタニック号の事件を手がかりに、イギリスという国について考えていきたい。

テーマ
2

議会のかたち、政治のかたち

今日の民主主義社会の基礎には、議会制がある。ところで、議会制の起源はしばしばイギリスに求められる。イギリスの議会制とはどういうものか。また、日本の議会制とどう違っているのか。「議会のかたち」を手がかりに、議会制という政治の仕組みを考えていきたい。

高校でご用意いただく機器

VHS

出講可能曜日

月・金曜日

教員Profile

略歴

1961年、熊本県に生まれる。東京都立大学法学部を卒業後、同大学大学院で修士課程、博士課程を経て、1994年に博士(政治学)を取得。同大学法学部助手、日本学振興会特別研究員を経て、現在に至る。

担当科目

イギリスを中心とした文化史関連科目

研究テーマ

イギリスを中心とした西洋政治思想史

研究業績

著書

*『英米文化学のこころみ』彩流社、2000年(共著)

*『英米文化の光と陰』彩流社、2001年(共著)

*『共和主義の思想空間』名古屋大学出版会、2006年(共著)

論文

*「自由概念をめぐる戦略—ヒュームからウィリアムズまで—」、『思想』901号(1999年)

*「バークにおける『思慮の政治』—岸本広司『バーク政治思想の展開』を読んで—」、『政治思想研究』第1号(2001年)

いとう たくま
伊藤 拓真
 人文学部 歴史文化学科准教授

E-mail itotakuma@keisen.ac.jp



テーマ
1

キリスト教と美術

ヨーロッパにおける美術の発展は、キリスト教と切り離して考えることはできません。美術作品は、布教のための道具として、信仰の拠り所として、また時には死後への不安を和らげるものとして、教会の内外で用いられました。この講座では、教会の装飾法、宗派による違い、聖人・聖遺物などに関する基礎的な事項を、美術作品を見ながら解説します。

テーマ
2

イタリアルネサンスとは何か

イタリア人の航海士コロンブスがアメリカ大陸に到達したころ、彼の故郷のイタリアでは後に「ルネサンス」と呼ばれることになる文化運動が最高潮を迎えるとしていました。「ルネサンス」、語源としては「再生」を意味するフランス語、ではいったい何が再生したのでしょうか。レオナルド・ダ・ヴィンチやミケランジェロなど、巨匠の作品を通じて欧米の価値観に深く根ざす歴史概念を学びます。

高校でご用意いただく機器

PCの画面が映せるプロジェクター、スクリーン

出講可能曜日

月・火曜日

教員Profile

略歴

*多摩美術大学卒業、東京大学大学院修士課程修了、
 ピサ高等師範学校博士課程修了(博士[美術史学])。
 日本学振興会特別研究員を経て2011年より現職。

担当科目

西洋美術史、教養基礎演習、文化領域研究I(キリスト教文化)など、西洋(特にイタリア)美術を中心とした文化史関連科目

研究テーマ

イタリアを中心とした西洋美術史

研究業績

著書

*La vetrata nella Toscana del Quattrocento(単著), Firenze: Olschki, 2011

論文

*「ジョヴァンニ・ディ・フランチェスコの正体:15世紀フィレンツェの二人の画家」、『地中海学研究』、地中海学会、28号、2005年

*「ヴァザーリの歴史記述の内と外:『芸術家列伝』の地理的構成、第1部・2部を中心として」、『西洋美術研究』、13号「特集:芸術家伝説」、2007年

*「『ペルジーノ風』ステンドグラス:一五〇〇年前後のジェズアーティ会修道士工房とフィレンツェの画家たち」、『美術史』、166冊、2009年

*“A private chapel as burial space: Filippo Strozzi with Filippino Lippi and Benedetto da Maiano in Santa Maria Novella, Florence,” Bulletin of Death and Life Studies, vol.7

[国際社会学科]

Department of International Social Studies



政治学、経済学、社会学などに民族、文化、宗教の視点を加えた複合的なアプローチで国際社会のあり方をとらえることができる、「地球市民」を育てる学科です。異なる民族、宗教、経済レベルをもつ国々が共存していくためのルールや政策を考えるのに必要な、国際法や人権、ジェンダー、国際協力についても学べます。

学びの
ポイント

方法論

社会的事情をとらえるためのツールとして、歴史学、社会学、国際関係論、国際経済学、国際政治学などの理論を学びます。

グローバルな問題群

貧困、民族・宗教対立、テロに環境破壊。世界は問題だけです。まず問題を直視します。次に、それらを解決しようとする国境を越えた取り組みを学びます。

国・地域

多彩な海外体験学習(長期フィールドスタディ&短期フィールドスタディ)で、教室を飛び出し、自分自身で、関心のある国や地域にふれます。

語学

世界とコミュニケーションするために必要な語学を幅広い選択肢から選べます(恵泉で学べる外国語=英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、インドネシア語、タイ語、ヒンディー語、スペイン語、イタリア語)。

ゼミナール

〈発信者〉として他の人々に適切にアプローチするためのステップです。発表や討論を通じて、リサーチ能力やプレゼンテーションの方法を身につけます。

三つのテーマ

〈グローバルイシュー・アメリカ・日本〉アメリカの衰退と中国の台頭、紛争・テロ・経済格差、そして人の移動やジェンダーなど、グローバル化する国際社会について、アメリカ・アジア・日本など、さまざまな地域から分析できる力をつけていきます。

〈韓国語、中国語、英語の語学研修〉英語とアジア語を習得するための語学研修を充実させ、ゼミと関連科目、フィールドスタディを通じて東アジア地域の知識を深め、卒業後は東アジアで活躍するチャンスを高めます。

〈フィールドスタディ(FS)で国際協力の現場を体験〉国際協力やNGOに関心がある人のために、タイをはじめとする東南アジアやインドのFSへの参加を促し、現地の人々の視点から国際協力について学び、平和のために実践する力をつけます。

李省展

人間社会学部 国際社会学科教授

E-mail sj-lee@keisen.ac.jp



テーマ
1

日本と朝鮮の歴史と文化交流

文禄・慶長の役は朝鮮に多大な被害を与えたが、徳川政権の戦後処理と平和に向けた取り組みから、国交は回復され、豊かな文化交流が展開された。しかし残念ながら近代になると、せっかく築かれた友好関係が損なわれてしまった。戦後、日本は南の韓国と国交を結び、最近に至ってはワールドカップの共催、韓流ブームなどかつて見られなかった交流が活発に行われている。高校生にわかりやすく、時系列的ポイントを押さえ、また概説的に日韓関係をふりかえる。

テーマ
2

多文化共生社会と日本

日本には「オールド・カマー」と呼ばれる在日韓国・朝鮮人と、「ニューカマー」とよばれる主としてアジアからの外国人が多数居住している。彼ら外国人が日本社会でどのような困難に直面しているのか？またどのように生きようとしているのか？日本社会の国際化・グローバル化の問題とあわせて、「共にいきる」ということはどういうことなのかを考える。

高校でご用意いただく機器

特にありません

出講可能曜日

月・金曜日

教員Profile

略歴

- *国際基督教大学教養学部卒業
- *国際基督教大学大学院比較文化研究科博士前期課程修了
- *恵泉女学園短期大学専任講師、恵泉女学園大学助教授を経て、2005年より現職

担当科目

研究テーマ

東アジアの歴史と文化、西欧と東アジアとの文化交流研究、
朝鮮近代史

研究業績

- *『アメリカ人宣教師と朝鮮の近代』
(単著、社会評論社、2006年)
- *『ちょっとヤバainじゃない？ ナショナリズム』
(共著、解放出版社、2006年)
- *『帝国と学校』(共著、昭和堂出版、2007年)

齊藤 小百合

人間社会学部 国際社会学科教授

E-mail sayuri@keisen.ac.jp



テーマ
1

なぜ結婚すると名字が変わるの？

結婚して名字が変わることに、なんとなく憧れている女子も多いかもしれません。憲法24条では、「両性の合意」のみを婚姻の条件としているのに、いざ結婚するとなると、どちらかの氏(姓)に統一して婚姻届を出さなければ、役所では受理してくれません。圧倒的多くの日本のカップルは男性の姓を選んでいるといいます。でも、いろいろな理由で、もともとの自分の姓を名乗りたい、そうでないと不利益になる(困る)と考える女性も多くなってきました。(みなさんの周りにも困っている先生がいるかもしれません。)夫婦が同姓を名乗ることを義務つけている現在の法制度は「平等」なのでしょうか。あなたならどう考えますか？

テーマ
2

「ツケマ禁止」校則の憲法学

「ケータイ」持ち込み禁止とか、スカートの長さとか、パーマ禁止とか、高校の校則っていろいろありますよね。窮屈に感じるかもしれないけど、それなりに理由もあったりします。憲法では、自己決定権とか幸福追求権として保障されていると考えられていますが、その一方で、憲法上保障されている権利(人権といってもいいけど)も、どんな場合でも100%保障されるわけではありません。つまり、ちゃんとした理由(これを合理的な理由といいます)があると制限されることもあるし、それで憲法違反になるわけでもありません。「ツケマ禁止」校則はどうなの？校則でパーマの原則禁止を最高裁判所まで争った人もいたんです。

高校でご用意いただく機器 特にありません

出講可能曜日 金・土曜日

教員Profile

略歴

B.A.(Political Science)1987, M.A.(Public Administration)1989,
Ph.D.1996, International Christian University.

担当科目

日本国憲法、比較憲法論、地方自治論他

研究テーマ

近代立憲主義、宗教的に多元的な社会における宗教の自由、手続的正義、思想良心の自由

研究業績

- *『現代日本の憲法』(共著)法律文化社、2009年
- *『憲法の現在』(共著)信山社、2005年
- *『人身保護請求』『別冊ジュリスト 憲法判例百選II(第5版)』有斐閣、2007年
- *『国家と宗教』『法律時報増刊 憲法改正問題』日本評論社、2005年

さかい
坂井

まこと
誠

人間社会学部 国際社会学科教授

E-mail msakai@keisen.ac.jp



テーマ
1

アメリカ社会の特徴を学ぼう—アメリカは豊かな国？

皆さんは超大国アメリカについて、どんなことをご存知ですか。アメリカは意外な側面を多くもつ国です。世界の中のアメリカを意識しつつ、皆さんにいくつか問い合わせをしながらアメリカ社会の特徴を紹介します。おそらく意外な発見があることでしょう。たとえば、こんな問い合わせはいかがですか。(1)アメリカ人って、どんな人?(2)アメリカは世界一豊かな国?(3)アメリカには病院へ行けない人がたくさんいるって、本当?

テーマ
2

お金について学ぼう—お金は人類最大の発明?

お金が人類最大の発明と言われることがあるのは、なぜでしょう。お金はいつごろ、どこで発明されたのでしょうか。お金の価値は何を意味し、それは何によって変化するのでしょうか。また、お金はどこでつくられるのでしょうか。私たちが毎日接しているお金には、素朴で答えにくい疑問がたくさんあります。そんな疑問を解きほぐしていきましょう。ところで、皆さんは「お札」の正式な名称を知っていますか。

高校でご用意いただく機器

書画カメラ(可能ならば)

出講可能曜日

火・金・土曜日

教員Profile

略歴

1959年鳥取県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。日本長期信用銀行調査部などで長らく、日米を中心としたマクロ経済分析・予測に従事。同行調査部ニューヨーク市駐在(1993-96年)、長銀総合研究所主任研究員などを経て、1999年より惠泉女学園大学の専任教員へ。現在、人間社会学部国際社会学科教授。

担当科目

アメリカの経済と社会、国際経済論、市場とグローバリゼーション、現代経済政策など

研究テーマ

アメリカ大統領の経済政策、アメリカの経済・社会に関わる諸問題(例:医療、福祉、年金、移民など)

研究業績

- *『現代アメリカの経済政策と格差—経済的自由主義政策批判』(単著)日本評論社、2007年
- *『自由主義はどこへ行く—米英政治経済からの再考』(坂井・蓮見共著)彩流社、2006年
- *『オバマ政権下の諸政策に関する政治経済的分析(1)—政策思想と就任1年目の初期政策』、2010年、『惠泉女学園大学紀要』第22号
- *『オバマ政権下の諸政策に関する政治経済的分析(2)—医療制度改革』、2011年、『惠泉女学園大学紀要』第23号
- *『オバマ政権下の諸政策に関する政治経済的分析(3)—金融規制改革と財政論争』、2012年、『惠泉女学園大学紀要』第24号(2014年春現在(5)まで)

さだまつ あや
定松 文

人間社会学部 国際社会学科教授

E-mail sadamatu@keisen.ac.jp



テーマ
1

アニメの中のお母さん

『サザエさん』『ちびまるこちゃん』『クレヨンしんちゃん』『わたしんち』など家族のアニメにみるお母さんは家にいて家事をしています。そして『アルプスの少女ハイジ』や『フランダースの犬』など世界の名作物語ではお母さんがいないなかで子供が育っています。私達の身近なアニメと家族のイメージと実際の統計で見られる家族像の違いをみて、現代における「お母さん」のイメージと現実のギャップの意味を考えましょう。

テーマ
2

フランス文化とは何か

フランスといえばファッショント、ルーブル美術館やオペラ、ベルサイユ宮殿、フランスパンやフランス料理など、きらびやかで豪華なイメージがあるようです。しかし、ちょっと地方を訪ねてみると、広大な田園や違う家の造りや町並みに気づくはずです。フランスのコルシカ島にはポリフォニーという多重合唱があり、イタリア語に近い言語が話されています。国境と文化の境は一致しないのはなぜか、歴史の旅をしてみましょう。

高校でご用意いただく機器

パワーポイントとDVDを使用するため、プロジェクターとパソコンにつなげるケーブルをお願いします。

出講可能曜日

火・金曜日

教員Profile

略歴

*1996年お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
比較文化学専攻(社会学)単位取得退学
*1999年4月～広島国際学院大学現代社会学部
専任教員
*2005年4月～恵泉女学園大学 准教授
*2010年4月～恵泉女学園大学 教授

担当科目

国際関係入門、国際社会学

研究テーマ

アジアの女性移住者とジェンダー再配置
フランスにおける地域と民族問題

研究業績

*「国際結婚にみる家族の問題—フィリピン人女性と日本人男性の結婚・離婚をめぐって」宮島喬・加納弘勝編『シリーズ国際社会②変容する日本社会と文化』東京大学出版会、2002年 p.41～68
*「グローバル化する社会における主体としての『地域』」
宮島喬・若松邦弘・小森宏美編『ヨーロッパにおける地域の多層化と変容』人文書院、2007年、p.25～43
*「コルシカ『フランス』の鏡に映る自我」原聖、庄司博史編『世界の先住民族06 ヨーロッパ』明石書店、2005年、p.222～238

すぎやま けいこ
杉山 圭以子

人間社会学部 国際社会学科教授

E-mail skeiko@keisen.ac.jp



テーマ
1

砂糖と英語とノーベル賞の関係

一見、何の関係もない三つの言葉を並べているようですが、実はそれぞれがきっちりと手を結び合っていて、じっと眺めていると壮大な世界史が浮かび上がります。タネも仕掛けもありません、歴史はいつも立体的なだけ。その確信に忠実に飛び込んでくるものを組み立てて、何より歴史を学ぶ楽しさを高校生の皆さんにお伝えしたいと思います。

テーマ
2

夏は祭りだ、祇園だ「インド」だ

よく自己紹介で「専門はインド史です」などと済ませますが、このインド、どうも人様には相當に遠いところのようです。それでも、大好きなこの夏祭りを話題にすると、今度はインドが気になってくださって、誰もがソワソワしてくるので不思議です。出前は、祭りのない夏以外のオフでも喜んでお受けします。

高校でご用意いただく機器

PC接続用スクリーンとプロジェクターがあれば助かりますが、ご無理であれば、それなりに対応いたします。

出講可能曜日

火・土曜日

教員Profile

略歴

ジャワハルラール・ネルー大学大学院歴史学研究センター、津田塾大学大学院国際関係学研究科を終え、パキスタン国立近代語学院、在印度日本大使館勤務を経て、惠泉女子大学専任教員。

担当科目

教養基礎演習、文化史研究、アジアの歴史、南アジア演習、比較文化論など

研究テーマ

インド近現代史、グローバルヒストリー、人の移動と文化表象

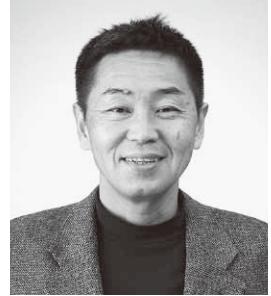
研究業績

- *『現代インドの展望』岩波書店（共著）
- *「多文化主義とセキュラリズム——インドの場合」都留文科大学『研究紀要』
- *「『ボリウッド映画』を考える」津田塾大学『国際関係学研究』
- *「バガット・スィング再考」惠泉女子大学『人文学部紀要』

たかはし きよたか
高橋 清貴

人間社会学部 国際社会学科教授

E-mail kiyo@keisen.ac.jp



テーマ
1

国際協力と出会う：ODAからNGOへ

私たちの暮らしとそれを成り立たせている仕組みを調べてみると、遠いと思っていた途上国の人びとの密接なつながりが見えてきます。そして、貧困や紛争は、自然に発生するものではなく、その原因は私たちの暮らしのあり方とも関係しています。国際協力には、貧困や紛争の根本原因に取り組むことと地域に住む人びとを中心に考えるという二つの視点が重要です。私自身(高橋)が、なぜ政府(日本政府)による国際協力(ODA)から、NGOに軸足を移して国際協力活動をするようになったのか、その経験を踏まえながら「国際協力」とは何かをお話します。

テーマ
2

平和を紡ぐ人びと：カンボジアの人身売買

アンコールワットで有名なカンボジアは、その壮大な文明を築いた一方で、近代になり植民地支配と長年にわたる紛争に翻弄された歴史を持つ国です。1970年から20年以上にわたる紛争を終えた後、復興から国づくりに歩み出しました。人びとは少しづつ地雷の脅威や虐殺の恐怖から自由になり始めています。しかし、その一方で貧富の格差や環境破壊など、新たな課題にも直面しています。人身売買は、そのひとつです。被害にあった少女たちの横顔を紹介し、人身売買という新たな課題の原因と構造を探る中で、「平和」とは何かと一緒に考えてみたいと思います。

高校でご用意いただく機器	ビデオセット(テープもしくはDVD)、場合によってはパワーポイント関連機器
--------------	---------------------------------------

出講可能曜日	月・金曜日の午後 (他の日は相談次第)
--------	------------------------

教員Profile

略歴

60年千葉生まれ。大学卒業後、青年海外協力隊としてフィリピン工科大学(マニラ)に理数科教師として派遣される。二年余りの活動後、帰国し、85年から開発コンサルタントとなり、多数の政府開発援助(ODA)によるプロジェクトに従事。91年にイギリスのマン彻スター大学社会人類学修士課程に留学。93年に修了後、オックスフォード大学難民研究所に移り、難民問題について研究。96年に帰国し、特定非営利活動法人の日本国際ボランティアセンター(JVC)に調査研究・政策提言担当して勤務。2004年より、惠泉女子大学専任教員(特任助教授)。ODA改革ネットワーク世話を務める。

担当科目

国際開発論、社会開発論、NGO・NPO論、平和研究入門、南アジア地域研究

研究テーマ

平和構築論、市民社会論、日本の国際協力とODA

研究業績

- *「国家・社会変革・NGO」(共著)、新評論、06
- *「NGOの挑戦」(共著)、めこん、05
- *「平和・人権・NGO」(共著)、新評論、04

李 泳 采

人間社会学部 国際社会学科准教授

E-mail young0822@keisen.ac.jp



テーマ
1

軍隊って何ですかー韓国若者の兵役と平和

もし彼氏が2年間兵役を行くなら待ってられますか。兵役を行くのに彼女が待ってくれないとどうしますか？韓国の若者は徴兵制で軍隊を経験しています。軍隊っていったいどういうところでしょうか。なぜ軍隊へ行って、何を経験するだろう。日本とは違って、憲法上兵役が国民の義務化されている韓国。ほとんどが軍隊を経験している韓国若者の視線から、私と国家、そして平和のあり方に関して考えてみます。

テーマ
2

「韓流」が伝えている現代韓国ー東アジア文化共同体の可能性は？

『冬のソナタ』のヨン様、『チャンクムの誓い』、『東方神起』など「韓流」はすでに日本の様々なところにすっかり浸透しています。一日1万名、年間約500万名が往来している日韓関係。ところが、日本と一番近いとなりの国の歴史と文化に関して、私たちはどれほど知っているでしょうか。「韓流」を切り口に日本と朝鮮半島、そして東アジア共通の文化を考えてみます。有名な韓国の映画とドラマ、そして音楽などを使いながら、楽しく語ってみましょう。

高校でご用意いただく機器

パワーポイントを使用しますので、プロジェクター

出講可能曜日

月・金曜日、場合によっては土曜日も可能

教員Profile

略歴

1971年、韓国全羅南道生まれ。98年来日、慶應義塾大学大学院法学研究科卒業。恵泉女子大学専任講師（98年～）。専門は日韓・日朝関係。日韓の市民団体の交流のコーディネーター、韓国語、韓国映画や映像を通して現代を語る市民講座の講師などを務める。

担当科目

平和研究入門、人権論入門、国際人権論、現代韓国朝鮮論

研究テーマ

戦後日韓・日朝関係、戦後補償、在日朝鮮人の帰国運動、韓流

研究業績

- *『なるほど！これが韓国か 名言・流行語・造語で知る韓国現代史』朝日新聞社、2006年。
- *『韓流がつたえる現代韓国ー「初恋」からノ・ムヒョンの死まで』梨の木舎、2009年。
- *『冷戦終結以降の北朝鮮の対日外交ー国家正統性と経済協力のトレードオフを中心に』小此木政夫編『危機の朝鮮半島』慶應義塾大学出版会、2006年。
- *『日朝不正常関係』と二つの人道問題ー帰国者、日本人妻問題の背景と課題』小此木政夫編『北朝鮮の人間の安全保障』慶應義塾大学出版会、2009年。

かわい あきひろ
川井 章弘

人間社会学部 国際社会学科准教授

E-mail a-kawai@keisen.ac.jp



テーマ
1

不思議発見!! 日本語の「世界」

人文科学は、広い意味で、人間が外部世界をどのように見ているかを取り扱う学問です。例えば、日本語の「いる」と「ある」という「存在」を表す単語を例にあげてみましょう。存在するものが「生き物」か「生き物でないか」の違いで、「ある」と「いる」というように区別するのは、全世界の言語の中で、日本語以外に見当たりません。今回、日本語文化が、どのように「外部世界(動物界、植物界、はては人間界)」を切り取り、解釈しているのか、受講してくださる皆さん方と探訪してみましょう。

テーマ
2

「説得する」ってどういうこと？会話を科学する

言葉で友だちにしてほしいこと、してほしくないことを伝えたり、依頼や誘いを断ったりという通常、無自覚的に行われる私たちの言語生活は、何気ないようでいて、どのように言ったら角が立たないかとても気を使うことが多いものです。今回、そんな日本人の言語生活を戦略的に考えてもらうため、「説得する」ことを素材にして、日本語の会話を、ともに、体系的に考えてみたいと思っています。因みに「あなたは海外留学をしたいと思っています。」。さあ、ご両親をどう説得しましょうか(^o^)

高校でご用意いただく機器

特にありません

出講可能曜日

火・水曜日

教員Profile

略歴

*平成2年3月青山学院大学大学院文学研究科日本文学・日本語専攻博士後期課程単位取得満期退学
*平成9年4月より惠泉女学園大学人文学部日本語日本文化学科専任講師

担当科目

日本語学・日本語教授法・日本語音声表現 他

研究テーマ

日本語学・日本語教育(特に談話)

研究業績

(論文・著書・著作・翻訳他)

*『情報と表現 日本語の表現と技法』双文社出版 共著
*『日本語の発話対一勧誘と応答ー』文体論研究48号 日本文体論学会 平成14年3月
*「「は」と「が」の混在文について」東アジア日本語教育・日本文化研究学会第九輯 平成18年3月 他

うるしばた ともやす

漆畠 智靖

人間社会学部 国際社会学科准教授

E-mail t-urushi@keisen.ac.jp

テーマ
1

オバマ大統領誕生の意味 —異人種間の結婚という視点から考えるアメリカ入門—

アメリカで初めての黒人の大統領である巴拉ク・オバマ。彼の父親はケニア出身の黒人であり、母親はアメリカ人の白人です。実は、オバマが生まれたときのアメリカでは、黒人と白人の結婚が州の法律で禁止されていた地域があったことを知っていますか。この「異人種間の結婚」という視点から、アメリカの黒人差別の歴史、さらにオバマ大統領の誕生がアメリカ社会にとって持つ意味を考えてみます。

テーマ
2

アメリカでインターネットを使った政治運動は どのように発展してきたのか

2008年のオバマの大統領選挙や最近のオキュパイ・ウォールストリート運動。どちらのケースにおいてもインターネットが大きな役割を果たしました。アメリカではいま、インターネット上に出現した新しいメディアが既存のテレビ局や新聞の地位をしぶしぶ脅かし、日本では考えられない大きな影響力を政治に対し行使するようになっています。その歴史と現状の検討を通して、アメリカ政治の現在を考えます。

高校でご用意いただく機器

プロジェクターとスクリーン

出講可能曜日

月・金曜日(他の日は相談次第)

教員Profile

略歴

1970年静岡県静岡市生まれ。
2002年早稲田大学政治学研究科博士後期課程単位取得退学。
2005年惠泉女学園大学人間社会学部専任教員。

担当科目

アメリカ政治・外交、国際政治学、アメリカ短期フィールドスタディ

研究テーマ

国際政治学、アメリカ政治研究

研究業績

*「アメリカの政治におけるブログの役割—ネットルーツの台頭を中心として」『惠泉女学園大学紀要』第24号、2012年2月。
*「冷戦後のアメリカの戦争とオバマの平和論」『ピースノート』御茶ノ水書房2012年(予定)。
*「最近のアメリカにおける右翼運動の現状に関する一考察—オバマ大統領への陰謀論的非難のケーススタディ」『惠泉女学園大学紀要』第22号2010年2月。

ほり よしえ
堀 芳枝

人間社会学部 国際社会学科准教授

E-mail y-hori@keisen.ac.jp



テーマ
1

100円ショップはなぜ安い？

みなさんが気軽に訪れる100円ショップは、なぜ100円で売れるのか？商品はどこでどのように作られているのか？こうした素朴で身近な問題に答えるために、実際に東京の100円ショップやタイ・中国などの生産地を訪れて調査をした結果を報告します。また、100円ショップの流行が私たちの生活に与えた影響についても考えます。さらに、グローバリゼーションという国際的な観点からも説明します。

テーマ
2

タイのストリート・チルドレンとNGO —子どものエンパワーメントを目指して

世界には約2億6000万人の子どもが児童労働に従事しているといわれます。この授業では、恵泉の長期フィールド・スタディで訪問するタイ北部のストリート・チルドレンの実態と労働、そして彼らを保護し、学校に通えるように活動しているNGO、そしてタイ政府の政策などを紹介します。また、国際社会の役割として国連の子どもの権利条約の意義と効果についても説明します。

高校でご用意いただく機器

パワーポイント使用のため(プロジェクター
とスクリーン)

出講可能曜日

月・火曜日
(場合によっては)金・土曜日も可

教員Profile

略歴

1968年埼玉県熊谷市生まれ
大学の学生時代にアルバイト代をためてはアジアを放浪。
その後、思い切ってフィリピン国立大学に留学し、タガログ語や
フィリピンの政治・社会について学ぶ。
1998年上智大学 外国語学研究科国際関係論専攻
博士後期課程単位取得修了。
同年より日本学術振興会特別研究員を経て、2001年より
恵泉女子大学国際社会文化学科専任講師、2003年
上智大学から博士学位(国際関係論)取得。
2005年より同大学人間社会学部 国際社会学科助教授。

担当科目

アジアと民主主義、子どもの権利、平和研究入門など

研究テーマ

東南アジア地域研究(フィリピンのフェア・トレード、ジェンダー、タイや
フィリピンの子ども)

研究業績

*堀芳枝第2章「100円ショップはどうなっているのか」、第3章「タイで
漉く「和紙」」アジア太平洋資料センター編『徹底解剖100円ショッ
プ』コモンズ、2004年。
*堀芳枝「タイ北部のストリート・チルドレンとNGO—子どもたちのエンパ
ワーメントと社会参加をめざして」初瀬龍平ほか編『国際関係の中の
子ども』御茶ノ水書房、2009年。
*堀芳枝「内発的民主主義への一考察—フィリピンの農地改革における
政府、NGO住民組織—」国際書院、2005年。

たなか やすひこ
田中 靖彦

人間社会学部 国際社会学科特任助教

E-mail y-tanaka@keisen.ac.jp



テーマ
1

三国志をめぐる歴史と言説の射程

長い中国の歴史の中でも、三国時代は多くの人々の興味を惹いてきました。そして、多くの人々に愛され、語られてきたがゆえに、三国時代に対する言説は、時代の流れの中で大きな変遷を遂げています。では、中国の人々は、どのように三国志の時代を語り継いできたのでしょうか。中国における三国志をめぐる言説とその変遷を手がかりに、中国における歴史観について、考えてみましょう。

テーマ
2

中国の歴史書

中国では昔から、歴史を書くことを重視する伝統があります。ある人は、自己正当化の道具として歴史書を利用し、またある人は、権力者の圧力に屈することなく、事実を事実のまま書き残すことに命を賭けました。歴史書は、こういった人々の思惑と努力の結晶であると言えるでしょう。そういう中国の歴史書にまつわるエピソードを味わうことを通じて、現代社会を生きる我々にとって「歴史」が持つ意味について、一緒に考えてみませんか。

高校でご用意いただく機器

特にありません

出講可能曜日

月・土曜日

教員Profile

略歴

1977年、長野県に生まれる。東京大学教養学部卒業後、同大学大学院総合文化研究科で修士課程・博士課程を終える。大東文化大学非常勤講師・駒澤大学非常勤講師・東京大学特任研究员を経て、現在に至る。

担当科目

中国を中心とした文化史関連科目

研究テーマ

中国地域文化研究、中国史学史、中国における三国志をめぐる言説に関する研究

研究業績

著書

- *『世界歴史の旅13 三国志の舞台』(共著)、山川出版社、2004年。
- *『全譯後漢書 第十六巻 列伝(六)』(共著)、汲古書院、2006年。
- *『漢文講読テキスト 三国志』(共著)、白帝社、2008年。

論文

- *「唐代における三国正統論と『史通』一曹魏描写に込められた劉知幾の唐朝観ー」『中国—社会と文化ー』20、2005年。
- *「『世說新語』の三国描写と劉義慶」『日本中国学会報』59、2007年。
- *「澶淵の盟と曹操祭祀—真宗朝における「正統」の萌芽ー」『東方学』119、2010年。同論文で第29回東方学会賞を受賞。

[現代社会学科]

Department of Studies on Contemporary Society



現代社会学科が育てたい学生とは、現代の社会問題や環境問題について、自然・メディア・社会の視点から多角的に考え、多様な人びととコミュニケーションをとり、社会の仕組みを新しく変えていく女性です。そのために必要な知識とスキルを、現場・現地での実習、地域支援プロジェクトへの参加、演劇的ワークショップの体験などを通して身につけます。

学びの
ポイント

食と環境

私たちのいのちは、自然の恵みである食を通して地球の環境とつながっています。また、複雑化した現代社会では、食は多くの人の手を経て私たちの口に入るという特徴があります。このため、食を考えることは環境を考えることであり、社会のあり方を考えることもあります。本学科では、現代社会の食と環境をめぐる多様な問題を手がかりにして、農業問題の現地学習や大学のエコキャンパスづくりを実践したりしながら、持続可能な社会を築くための力を培います。

メディアとコミュニケーション

情報化された現代社会では、メディアを通して世界を見聞きし、世界とつながることが多くなっています。現代社会を知るためにには、メディアについて学び、メディアを生かすことが不可欠です。本学科では、マスメディアをはじめ、twitterやFacebookのようなソーシャルメディアの歴史を学び、必要な情報を正しく受け取る力（メディア・リテラシー）を身につけます。さらに、ジャーナリストからの指導やメディア制作などを通して、社会で役立つ情報を発信するためのコミュニケーション技術を身につけます。

共生社会

私たちは地域コミュニティの中で暮らしていますが、その生活もさまざまな歴史・文化・宗教などを持った世界各地の人びとつながっています。グローバル化が急速に進む現代社会にあって、ますます多様な他者と共に生きるための知恵を身につける必要があります。本学科では、「一人ひとりが違っていてよい」という多様性を大切にして、特に人権やマイノリティへの視点を重視しながら、さまざまな人びとが共生する社会をつくるにはどうすればよいのかを考えます。

うえむら ひであき
上村 英明

人間社会学部 現代社会学科教授
大学院平和学研究科科長

E-mail yuemura@keisen.ac.jp



テーマ
1

白クマの危機と台所の危うさを考える： 気候変動と生物多様性という視点

地球環境の危機が正面から取り組まれるようになったのは、1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された「国連環境開発会議（地球サミット）」からでした。ここで、採択された生物多様性条約と気候変動枠組条約は、私たちの食をはじめとする生活に大きな影響を与えています。

テーマ
2

「平成狸合戦ポンポコ」と「先住知」「伝統知」： 近代と開発を再考する

近代は新しい社会や人間関係、人間と自然の関係をもたらしましたが、その中で地球環境問題や原発事故をももたらし、その価値を再考する時代が来ています。ポンポコの世界を手掛かりに、「先住知」や「伝統知」という考え方を探り、新たな人権の視点から私たちの社会を考えます。

高校でご用意いただく機器	ビデオセット（テープもしくはDVD）
--------------	--------------------

出講可能曜日	月・金曜日午後、土曜日 (前期 研究休暇)
--------	--------------------------

教員Profile

略歴

*56年熊本生まれ。
*79年慶應義塾大学法学部卒業、81年早稲田大学
大学院経済学研究科修士課程修了。
*02年恵泉女学園大学専任教員、11年恵泉女学園理事。
*市民外交センター代表、国際人権NGOネットワーク代
表、国連改革を考えるNGO連絡会代表、アイヌ文化ア
ドバイザー、国連生物多様性の10年市民ネットワーク
幹事などを務める。

担当科目

平和研究入門、先住民族・マイノリティ論、NGO・NPO論、地球環
境ガバナンス論

研究テーマ

国際人権法、NGO・NPO論、先住民族の権利、国際機構論

研究業績

*『市民の外交－先住民族と歩んだ30年』、法政大学出版局、13
*『先住民族の権利と国際人権法・国連人権機構』『講座人権論の
再定位:人権の実現』法律文化社、11
*『知っていますか?アイヌ民族一問一答 新版』、解放出版社、08
*『先住民族の「近代史』、平凡社、01

片倉 芳雄

人間社会学部 現代社会学科教授

E-mail katakura@keisen.ac.jp



テーマ
1

土のpHを測ってみよう

地球の陸地は土で覆われ、様々な植物や動物の生命を支える基盤となっています。土とは何か？土はどこから、どのようにしてできてきたのか、どのような性質をもっているのか。植物栽培のための土壤分析で、一番に行われるのがpHの測定です。人間で例えると健康管理のための血圧測定みたいなものでしょうか？pH測定を通して土がもっている性質の一端やpH測定の意味を考えてみましょう。

テーマ
2

植物の養分(硝酸)吸収を調べてみよう

植物は土の中から水と養分を吸収して生育しています。私たちは植物の生産物を直接あるいは間接的に利用して生きています。植物は土の中から養分としてどんなものをどのように吸収しているのでしょうか。栄養源である窒素の一つの吸収形態である硝酸について、土の中の動きや植物への吸収について調べてみましょう。

高校でご用意いただく機器

化学実験室があれば使用したい、ビデオプロジェクター

出講可能曜日

月・水曜日

教員Profile

略歴

1977年3月日本大学大学院農学研究科修士課程修了、1977年4月から恵泉女学園短期大学園芸生活学科にて化学実験・土壤肥料学などを担当、2005年から恵泉女学園大学にて土や水を中心とした環境関連科目を担当している。

担当科目

「土と文明」、「水と土の環境論」など

研究テーマ

「土壤の化学的性質と植物生育」、「有機性廃棄物の有効利用」

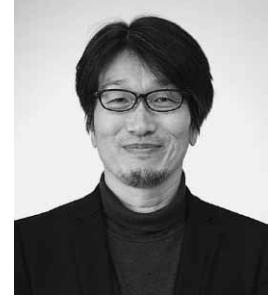
研究業績

- *「ブルーベリー樹の養分吸収特性に関する栄養生理学的研究」(博士論文)1997
- *「コーヒーチェリーの有機肥料化に関する基礎研究」(共著)恵泉女学園大学 園芸文化 第4号 2007年
- *「コーヒーチェリーかす堆肥による有機農法の農家への展開に関する基礎研究」(共著)恵泉女学園大学 園芸文化 第5号 2008年
- *「タナ・トラジャにおけるコーヒー栽培技術向上のためのコーヒーチェリーかす堆肥の利用」(共著)恵泉女学園大学 園芸文化 第6号 2009年

たけだ とおる
武田 徹

人間社会学部 現代社会学科教授

E-mail ttakeda@keisen.ac.jp



テーマ
1

ケータイ社会のあり方

メディアとは新聞やTVなどの「マスメディア」だけではありません。郵便や電話のように人と人をつなげる「パーソナルメディア」、たとえば私たちが肌身離さずに使うケータイ電話もメディア社会学の研究対象になります。この講義では、特に若い世代のケータイ利用法に注目して日本のケータイ社会について考えてみようと思います。たとえばメールをすぐに返さないと不安を覚える若者の心情はどうして生まれたのか。日本独特の公共空間でのケータイ電話の使用(禁止)法はどのような社会背景で形成されたのか。「スマートフォン」へケータイ電話が変わってゆくと日本のケータイ社会も変容するのか——。誰にも身近で具体的なテーマを取り口として、ケータイというメディアから日本社会の「質」を考察してゆきます。

テーマ
2

原発を巡る日本近代史

311以後、脱原発運動が盛んになっています。しかし、この狭い日本の国土に54機もの原発が稼動していた状況はどうやって作られたのか、その歴史まで知る人はあまり多くない。被爆国だった日本がなぜ原子力利用に踏み切ったのか。なぜ原発は地方にだけあるのか。「安全神話」はどのように作られたのか——。この講義では、原発受容の歴史として日本の戦後史を省み、たとえば日米関係が原発の導入にいかに影を落としていたのか、地方の過疎化と都市部の過密化を同時進行させつつ実現された日本の高度経済成長と原発の関係や、マスメディアは原発をいかに報じてきたなどを分析してみます。そして脱原発を本当に実現するためには、単に代替エネルギーの実用化だけでなく、日本社会そのものの質的な変革が必要であることについて、一緒に考えてみたいと思います。

高校でご用意いただく機器

プロジェクトが使用できるとありがたいです(PCは持参できます)。

出講可能曜日

月・火曜日

教員Profile

略歴

*国際基督教大学教養学部卒、国際基督教大学大学院博士課程修了
*東京大学先端科学技術研究センター特任教授を経て
2007年より現職

担当科目

教養基礎演習、社会学、メディア社会学、日本文化史演習、日本文化史特別演習、卒業論文、情報調査の技術

研究テーマ

メディア社会学 近現代日本社会史

研究業績

- *『私たちはこうして原発大国を選んだ』(単著)中公新書 2011
- *『原発報道とメディア』(単著)講談社現代新書 2011
- *『殺して忘れる社会』(単著)河出書房新社 2010
- *『戦争報道』(単著)ちくま新書 2003
- *『流行人類学クロニクル』(単著)
日経BP社 2000(サントリー学芸賞受賞)

ふじた さとし
藤田 智

人間社会学部 現代社会学科教授

E-mail s-fujita@keisen.ac.jp



テーマ
1

やさいの時間—育種編—

野菜は、いろんな意味で深いものです。それに関わってきた人間やそれを変えようとする人間、また、守ろうとする人間、実際にたくさんの物語があります。この授業では、数種類の野菜を取り上げ、その育種的変化や形の変化などを明らかにし、その過程で育種の方法の実際、育種技術の応用などを述べて行きます。さて、実際に育種された野菜たちは、私たちの生活はどう関わっているのでしょうか。

テーマ
2

世界一受けたい授業—野菜編—

野菜は、古くからビタミン、ミネラル、食物繊維の供給源としてその重要性が尊重されてきました。そして、今、ダイエットの世界にまでその効果が及ぼうとしています。この授業では、毎回、テレビで取り上げられたネタをもとに、それに輪をかけた内容で野菜を面白、おかしく紹介します。例えば、世界一長いダイコン、珍しい野菜など、きっと、あなたは野菜のとりことなることでしょう。

高校でご用意いただく機器

PC、プロジェクター

出講可能曜日

火・金曜日

教員Profile

略歴

1983年3月に岩手大学大学院農学研究科修士課程修了し、1983年4月から1985年3月まで向中野学園高等学校で教諭（生物、園芸）。1985年4月から、恵泉女学園短期大学園芸生活学科助手、専任講師、助教授。2004年4月、恵泉女学園大学助教授を経て、2010年4月から同教授。現在、女子栄養大学、横浜国立大学非常勤講師。

担当科目

生活園芸IおよびII、園芸文化実践演習など

研究テーマ

野菜の品種改良、野菜の栽培方法の普及および教育

研究業績

著書

*キュウリのとげはなぜ消えたのか（学研新書、2007年）

*野菜づくり大図鑑（講談社、2007年）

*はじめてのベランダガーデニング（創英社／三省堂書店、2007年）

*藤田智の菜園スタートブック（NHK出版、2009年）

*つくる！日本の野菜（藤田智、橋本哲弥）明治書院、2010年。

*個性派おもしろ野菜のつくり方（洋泉社、2010年）

学術論文

*環境教育教材としての野菜栽培の利用に関する研究（第1報）学校園における環境保全型園芸とベジタブルガーデンの利用について（2000年）、恵泉女学園短大研究紀要31:35-43。

*環境教育教材としての野菜栽培の利用に関する研究（第2報）二、三の天然土壤改良資材が数種野菜の生育に及ぼす影響（2005）、恵泉女学園園芸短大研究紀要36:27-31。

*ステビア（Stevia rebaudiana BERTONI）のレバウディオサイドA高含量三倍体の育成（2001年）、畠修一・四方恒生・藤田智、熱帯農業45:281-289。

*大学農場における社会人教育の意義（第1報）就農準備校について（2003）、恵泉女学園園芸短大研究紀要34:15-21。

しのだ
篠田 真理子

人間社会学部 現代社会学科准教授

E-mail shinoda@keisen.ac.jp



テーマ
1

ピーターラビットとトトロから考える自然保護—ナショナルトラストとは？

かわいいキャラクターであるピーターラビットとトトロには共通点がありますが、それは？多くの人は「自然は大切にしなければならない」と言います。しかし思うだけでは生きもの、なによりそれらが住む“場所”を守ることはできません。自然を守るために一つのやり方として、ナショナルトラストという方法が19世紀末のイギリスで生まれました。運動のシンボルとしてのキャラクターの役割について、画像や映像を見ながら考えてみましょう。

テーマ
2

自然を利用して生活すること—多摩の「めかい」を体験してみよう

あなたの身の回りにある“モノ”は、どこから来ていますか？たいていは店で買ったものでしょう。手作りの洋服やマフラーがあったとしても、材料の布や毛糸は店で買ってきましたものですね。現代の生活においては、自然と結びついているという実感は持ちにくいものです。身近な自然（里山）に生えているササをつかった手作りのザル（めかい）を作ってみませんか。昔ながらのモノづくりを体験しながら、“モノ”を通じた自然とのかかわりを実感してみましょう。

高校でご用意いただく機器	パワーポイントを使用します。プロジェクターとスクリーンをご用意ください。
--------------	--------------------------------------

出講可能曜日	火(時間により可能)・金・土曜日
--------	------------------

教員Profile

略歴

1986年横浜市立大学文理学部卒、会社勤務を経て1993年東京大学総合文化研究科修士課程入学、2002年同博士課程単位取得退学。2006年博士（学術）。2005年より惠泉女学園大学人間社会学部人間環境学科准教授。

担当科目

自然保護論、生物多様性論、地球環境政策

研究テーマ

自然保護の歴史、環境思想

研究業績

*「20世紀前半の日本における天然記念物：科学・政策・自然保護の接点」東京大学大学院博士論文(2006年)。
*篠田真理子「異郷・郷土・自然：「自然の記念物」の概念と自然観の変遷」『UTCP研究論集』第1号(2004年3月)。
*川端一弘・篠田真理子「大正期の森林伐採と自然保護思想の嚆矢：四日市製紙の大台ヶ原トウヒ林伐採への反対運動」『生物学史研究』第68号(2001年)。

まつむら まさはる
松村 正治

人間社会学部 現代社会学科准教授

E-mail m-matsu@keisen.ac.jp



テーマ
1

懐かしい未来としての里山人と自然が共生するモデルとして

ジブリ映画『となりのトトロ』には、狭山丘陵と思われる里山の情景が描かれています。若い人たちにとっても、なぜか懐かしさを感じさせる里山。しかし、現在、里山は急速な勢いで失われようとしています。

この講義では、これからの人と自然のあり方を考えるために、里山に注目します。過去を振りかえるためではなく、豊かな未来を構想するために、里山をめぐる研究の最前線にお誘いします。里山について知ることは、自然保护についての一般的なイメージをくつがえし、人と自然が共生するための新しい展望を得ることになるでしょう。

テーマ
2

エコツーリズムは環境を守り経済を豊かにするのか？

環境を守りながら観光をすすめるエコツーリズム。持続可能な社会を実現するために世界中で期待されています。国内では、2008年にエコツーリズム推進法が施行されました。

しかし、エコツーリズムは万能ではありません。先進的な地域でも、さまざまな問題を抱えています。この講義では、こうした実情を紹介しながら、これから国内外にエコツーリズムを広げていくときに、どういうポイントを押さえておくべきなのかを考えます。

高校でご用意いただく機器	プロジェクタ、スクリーン（パワーポイントを使用します）
--------------	-----------------------------

出講可能曜日	月・火曜日
--------	-------

教員Profile

略歴

1969年東京都生まれ。東京大学理学部（地理学）、環境コンサルタント会社、東京工業大学大学院社会理工学研究科（社会工学）を経て現職。NPO法人よこはま里山研究所理事長。

担当科目

環境社会学、持続可能社会論、エコツーリズム論など

研究テーマ

都市近郊の里山保全活動、沖縄の環境と開発、国境地域の人と物の移動

研究業績

- *松井健編『島の生活世界と開発3沖縄列島—シマの自然と伝統のゆくえ』東京大学出版会、2004年（共著）
- *日本科学者会議編『環境事典』旬報社、2008年（共著）
- *鳥越皓之・帶谷博明編『よくわかる環境社会学』ミネルヴァ書房、2009年（共著）
- *木平勇吉編『みどりの市民参加—森と社会の未来をひらく』日本林業調査会、2010年（共著）
- *宮内泰介編『なぜ環境保全はうまくいかないのか—現場から考える「順応的ガバナンス」の可能性』新泉社、2013年（共著）

〔社会園芸学科〕

Department of Psychology and Horticulture



**園芸学と心理学の学びを通じて、人と人とが
うるおい豊かに暮らせる地域社会をつくる。**

日本社会が戦後たどってきた60余年の道のりは、経済性や効率を最優先するあまりに、地域や家庭における人ととの関係をおろそかにしてきました。未曾有の被害をもたらした3・11に、私たちは暮らしの根本を見つめ、心の豊かさを取り戻す大切さを気づかされました。社会園芸学科は、人と人をつなぐあり方について園芸を通して学び、他者と自身への理解を深める心理学の視点から、人ととの豊かな関係を築く社会の実現をめざします。

学びの
ポイント

園芸学領域

■園芸を用いて生活を豊かにする方法を考える

植物を育てるという園芸の基本を学んだ上で、地域社会における人間関係の構築や環境の改善に園芸を活かす工夫を考えます。また、さまざまな人と園芸を楽しむ時間を共有することで心の癒やしを図る、園芸を介した新しい心理療法の開発を試みるなど、生活者の視点に立った新しい園芸学の確立を目指しています。

心理学領域

■新しい形の心理学を学ぶ

今揺らぎ始めている親子関係やいじめ、不登校など、現代社会が抱える人間形成の不全や障害に由来するさまざまな問題をテーマに、心理学的・社会学的な視点から多角的に考察する領域です。フィールドワークも多く、実際の現場で主体的に学んだ経験を通して自分を広く深く見つめながら考える力や生きる力を養います。

おおひなた まさみ
大日向 雅美

人間社会学部 社会園芸学科教授

E-mail mohinata@keisen.ac.jp



テーマ
1

どの家庭もみな「厳父慈母」なの? ～グリム童話から読み解く親子・家族関係の深層～

「うちの父は決断力がなくて…。母は口やかましくて…。他の親と全然違う。普通の家が羨ましい!」と思うことはありませんか?でも、「普通の親」「普通の家庭」って、どこのあるのでしょうか?「父は強く、母は慈愛に満ちて…」というのは、もしかしたら幻想かも知れません。家族や親子の姿の原点を、グリム童話を題材として、深層心理的に考えてみたいと思います。

テーマ
2

こども虐待について考える

親や周囲の大人による心ない仕打ちによって、子どもが命を落としたり、心身に深い傷を負う事例が後を絶ちません。虐待はなぜ起こるのか?どうしたら防ぐことができるのか?現代の子育て事情に山積している問題を分析しながら、子どもの幸せを守れる社会に在り方について考えてみたいと思います。

高校でご用意いただく機器

マイク

出講可能曜日

月曜日

教員Profile

略歴

お茶の水女子大学・同大学院修士課程修了、東京都立大学大学院博士課程満期退学。学術博士。1970年代初頭のコインロッカー・ベビー事件を契機に、母親の育児ストレスや育児不安の研究に取り組む。2003年よりNPO法人あい・ぱーとステーション代表として、また子育てひろば(あい・ぱーと)の施設長として、社会や地域の皆で子育てを支える活動にも携わっている。

担当科目

ジェンダー論・子どもの発達・親子関係学など

研究テーマ

母性神話の形成過程とその課題・親子関係や女性のライフスタイル志向に関する発達心理学的検討

研究業績

- *『母性の研究』(川島書店)
- *『子育てと出会いうとき』(NHK出版)
- *『母性愛神話の罠』(日本評論社)
- *『「子育て支援が親をダメにする」なんて言わせない』(岩波書店)他



さいとう 齋藤 まみ 謁

人間社会学部 社会園芸学科教授

E-mail mami-s@keisen.ac.jp



テーマ
1

心理学の基礎固めとしての“太極拳”

本学人間環境学科では、1年生全員に教員全員でかかわり、「太極拳・ストレッチ・マッサージ」を学びます。これは、心理学を中心として、その後の学問を修めていくための基礎となります。その入門編をお伝えしたいと思います。

テーマ
2

乳幼児期の心理学と虐待

乳幼児期の人の発達はめざましいものがあります。それほどに重要な時期だけに、児童虐待の問題はとても深刻です。乳幼児の発達と虐待の課題についてお話をいたします。

高校でご用意いただく機器

特にありません

出講可能曜日

水(第3除く)・金曜日

教員Profile

略歴

*明治学院大学・国際基督教大学大学院教育学研究科で心理学を学ぶ。
*明治学院大学社会学部付属研究所、国際医療福祉大学を経て、恵泉女子大学人間環境学科に着任。現在にいたる。臨床心理士。

担当科目

「対人心理学」「対人心理学」「教育心理学」など

研究テーマ

*心と身体の発達とその関係について
*児童虐待とそのケアについて

研究業績

*「子どもと家庭に関する問題と社会福祉の対応①—虐待・心理学的視点から」子どもと家庭の支援と社会福祉 第3巻 第10章 ミネルヴァ書房 2008,2010改訂
*「子どもの関わりの実際(4)虐待」乳幼児・児童の心理臨床 第10章 放送大学教育振興会 2011
*「児童福祉施設における子どもの発達」保育の心理学I 第14章 福林出版 2011

さわのぼり さなえ
澤登 早苗

人間社会学部 社会園芸学科教授

E-mail sawan@keisen.ac.jp



テーマ
1

食、農、環境をつなぐ命の教育

「あなたが食べているものは、どこで、誰がつくったもの?」、「ダイコンのタネはどこにある?」「子育てと野菜栽培の共通点は?」、など、身近なところに目を向けて、食と農と環境がどの様につながっているのか一緒に考えてみましょう。福島第一原発事故は農業者に何をもたらしたのかも紹介します。

テーマ
2

新しい時代における農業、園芸の新しい役割

「農業」という言葉にあなたはどの様なイメージを持っていますか?今、農業や園芸がもつ役割が大きく広がっています。生産を目的とした農業や園芸だけでなく、農業や園芸を通じて、人と人を繋げる、地域を再生する、人々に心豊かな生活を提供するなど…。新しい時代における農業や園芸の新しい役割について紹介します。

高校でご用意いただく機器

PCおよびプロジェクター

出講可能曜日

月・金曜日(後期 研究休暇)

教員Profile

略歴

東京農工大学・同大学大学院修士課程修了、NZマッセイ大学大学院修了、東京農工大学大学院連合農学研究科博士課程修了(農学博士)。1994年より教育プログラムとしての有機園芸の教育・普及に取り組む。2003年より南青山にある子育てひろば(あいばーと)で親子有機野菜教室を指導。地域の方々との協働による福島の復興支援のためのプログラムや学内にあるオーガニックカフェの運営にも、積極的に関わっている。現在、社会園芸学科長。

担当科目

園芸と人間形成、有機農業学、生活園芸Ⅱなど

研究テーマ

有機農業及び菜園を通じた教育・子育て・コミュニティ再生に関すること

研究業績

- 著書
 - *『本来農業宣言』(共著) 2009,09
 - *『有機農業の技術開発の課題』(共著) 2007,12
 - *『教育農場の四季』(単著) 2005,04
- 論文
 - *『タナ・トラジャにおけるコーヒー栽培技術向上のためのコーヒーチェリーかす堆肥の利用』(共著) 2009,07
 - *『多摩市における園芸ボランティアを成功に導くための基礎研究(2)活動を充実させ、その主体性を高めていくために必要なこと』(共著) 2009,07



ダ

シリバ

デクスター

DA SILVA, Dexter

人間社会学部 社会園芸学科教授

E-mail dasilva@keisen.ac.jp

テーマ
1

Becoming an International Person

Do you ever think “I want be international” or “How can I become more international”? What does this really mean? In this lesson we will look at three questions:

1. Who or what is an international person ?
2. How international are you? Important characteristics of being an international person – knowledge, skills, attitudes, experience,..
3. What kind of international person do you want to become ?

We will work in groups, listening, thinking, sharing and writing your ideas on these questions.

テーマ
2

Who Are You?

You can answer this question in many ways: your name, age, gender, family background, personality, nationality, religion, hobbies, groups you belong to, likes and dislikes, beliefs, dreams for the future, etc. In this lesson, we will look at many of these, so that you can understand yourself more deeply, talk more about yourself in English, and be better able to make choices about who you want to become in the future.

高校でご用意いただく機器

Nothing special.

出講可能曜日

Fridays and Saturdays

教員Profile

略歴

Born in Trinidad and Tobago, migrated to Sydney, Australia during junior high school. Bachelor of Arts (Psychology), Diploma of Education (TESOL/Asian Studies), Master of Arts (Psychology), The University of Sydney. Ph.D. (Educational Psychology) SELF Centre, The University of Western Sydney. Travelled around the world for 2 years before working as a counselor and junior high school teacher in Sydney. Taught English at various universities and institutions in Sydney and Tokyo. Have been teaching at Keisen University since 1990 part-time and full-time since 1992.

担当科目

Previously, various English courses at all levels and all language skills. Currently, Social Psychology, Educational Psychology, Australian Minorities, Identity, English Teaching Methodology.

研究テーマ

Issues related to Student Motivation, Trust, and Identity.

研究業績

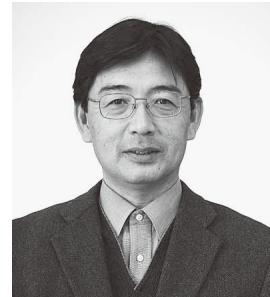
Recent Selected Publications:

- *Journal article
2009 Towards a Pedagogy of Trust. Keisen University Bulletin.
- *Book chapter
2008 Motivational and Self Goals of Female Students in Contemporary Japan. In What the West Can Learn From the East: Asian Perspectives on the Psychology of Learning and Motivation, pp.191-216. Information Age Publishing.
- *Conference Proceedings
2007 "Self-Concept: What is it, and why is it important?" JALT 2006, Kita Kyushu, Japan.
- 2006 "Comparing EFL Motivation and General Academic Motivation." SELF Research Centre Biennial International Conference, The University of Michigan, United States.
- 2005 "Are Japanese University Students Really Unmotivated?" Australian Association for Research in Education 2005 International Education Research Conference, Sydney, Australia.

こばやし みきお
小林 幹夫

人間社会学部 社会園芸学科教授

E-mail kobayashi@keisen.ac.jp



テーマ
1

おいしい果物を食べる—消費者と生産者の視点から—

私たちの食べている果物は、国産と輸入物の割合で見ると、今のところ輸入果物のほうが多く私たちの口に入ってきてています。そのような状況の中で、私たちがおいしい果物を食べるにはどうしたらよいのか。環境の影響や消費者と生産者の見方の違いを踏まえて、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

テーマ
2

果物の食品機能性について—ブルーベリーは、なぜ目によいのか—

果物は甘い酸っぱいと味を楽しむだけではなく、色素や食物繊維など果実に含まれる様々な成分があり、それらは、私たちの健康と深い関係を持っています。健康と果物の関係について紹介して行きます。

高校でご用意いただく機器

特にありません

出講可能曜日

月・金曜日

教員Profile

略歴

東京農工大学大学院農学研究科修士課程終了。
2005年より現職

担当科目

「園芸と文化」「果樹と生活」「生活園芸I」など

研究テーマ

果樹の栽培・貯蔵性・繁殖に関すること

研究業績

- *『ラビットアイブルーベリーの収穫期および成熟期が果実品種に及ぼす影響』園芸学会雑誌 第69巻 2000年
- *『生活と園芸—ガーデニング入門』(共著)玉川大学出版部 2004年
- *『小果樹類遺伝資源の収集と特性に関する研究』惠泉女子大学園芸文化研究所報告 第2号 2005年
- *『個別収穫および房取り収穫したブルーベリー果実の品質』園芸学研究 第8巻 別冊2 2009年



きた やすのり
喜田 安哲

人間社会学部 社会園芸学科准教授

E-mail ykitat@keisen.ac.jp



テーマ
1

心理学の考え方

心理学を学べば人の心がよめるようになるのでしょうか。残念ながら、心理学を学んだからといって、人の心が手に取れるよう分かるわけではありません。では、心理学では何をどのように扱うことで、心にアプローチしてゆくのでしょうか。講義では、実際の研究例や簡単な実験を織り交ぜながら、心理学の考え方について紹介してゆきます。

テーマ
2

身体イメージの心理学

最近の研究では、知覚、記憶、認知、言語、情動など、ありとあらゆる心的機能にとって身体イメージが重要な役割を果たしていることが示されています。本講義は実技を行います。身体への意識のしかたの違いで現れる思わぬ効果を実体験してもらいます。体操着で参加して下さい。

高校でご用意いただく機器

パワーポイントを使用するためのPCおよびプロジェクター。

出講可能曜日

金曜日のみ

教員Profile

略歴

東京学芸大学卒業後、国立リハビリテーションセンター学院にてリハビリテーションを学ぶ。日本大学大学院文学研究科博士課程修了(博士(教育学))のち本学に着任。

担当科目

「リハビリテーション」「脳と障害」「統計学」など

研究テーマ

身体運動制御のメカニズム
認知を形成する条件規定関係

研究業績

- 著書
*『データ分析とSPSS1・2』北樹出版,2005,2006.
- 学術論文
*“Two types of movement-related cortical potentials preceding wrist extension in man” NeuroReport, 12(10), 2221-2225, 2001.
- *『感覚記憶におけるトップダウン処理の効果』惠泉女学園大学紀要, 20,2008.翻訳
- *『認知過程のコネクショニスト・モデル』北樹出版,2005.(翻訳)

ひぐち ゆきお
樋口 幸男

人間社会学部 社会園芸学科准教授

E-mail higuchi@keisen.ac.jp



テーマ
1

花の品種改良最前線～あなたならどんな花を咲かせたいですか？

もし、あなたが花の品種改良をするとしたら、どんな花を咲かせてみたいですか？今、この世に存在する多種多様な花の品種も、最初は人々の夢の中だけで咲いていましたが、育種家たちの努力によりそれらは現実のものとなっていました。例えば、青いバラ。咲かせることは不可能と考えられていたが、2004年7月、サントリーが青いバラを咲かせることに成功したというニュースが新聞の一面を飾ったのです。人々の花に対する情熱と、それを支える遺伝子組み換え等の新技術について考えてみましょう。

テーマ
2

植物の性、その驚きの世界

皆さんは「性」というと、まず動物の雌雄を連想されると思います。そして、植物の性は、動物ほど複雑なものだとは思っていないのではないかでしょうか。しかし、植物の性も、よく観察してみると意外に多様性に富んでいるのです。例えば、里山に普通に生えているサトイモ科の植物、マムシグサ。この植物は、個体が小さいときは雄花を付け、大きくなると雌花をつけるというように、なんと性転換をするのです。驚きの植物の性の世界をのぞいてみませんか。

高校でご用意いただく機器

特にありません

出講可能曜日

水・土曜日のみ

教員Profile

略歴

1987年3月に東京農工大学大学院農学研究科修士課程を修了し、1987年4月から1990年5月まで(株)サカタのタネ茅ヶ崎試験場に勤務。サクラソウ、ニチニチソウなどの品種改良を担当。1990年6月より恵泉女学園短期大学園芸生活学科助手。1993年4月に恵泉女学園短期大学園芸生活学科専任講師を経て、同大学人間環境学科専任講師。2002年3月、東京農工大学連合大学院にて博士(農学)の学位取得。2003年4月より恵泉女学園大学人間社会学部人間環境学科助教授、2007年より現職。

担当科目

植物と栽培、人と植物の関係学、生活園芸IIなど

研究テーマ

花の品種改良ならびに栽培に関すること

研究業績

学術論文

*Higuchi, Y., A. Kitajima, I. Ogiwara and N. Hakoda. The inheritance of primin secretion in *Primula obconica*. J. Japan. Soc. Hort. Sci. 70(1):41-45. January 2001.

*樋口幸男・荻原勲・箱田直紀. プリムラ・オブコニカのプリミン保有品種とフリー品種の交雑后代におけるプリミン分泌形質の異常分離. 園芸学研究1(1):17-20.2002年4月

*樋口幸男・広戸咲子・荻原勲・箱田直紀. プリムラ・オブコニカにおけるプリミンフリー品種の組織培養による増殖. 日本農業教育学会雑誌.33(1):19-23.2002年4月.

*プリムラ・オブコニカ(*Primula obconica* Hance)のプリミン分泌に関する形態学的および遺伝育種学的研究.(学位論文)東京農工大学連合大学院.2002年3月

監修

*図鑑NEO シリーズ「飼育と栽培」小学館.2005年

コラム執筆

*図説園芸学 朝倉書店.2006年

みやうち やすゆき
宮内 泰之

人間社会学部 社会園芸学科准教授

E-mail miya@keisen.ac.jp



テーマ
1

消えゆく植物、変わりゆく風景

皆さんは秋の七草を実際に見たことがありますか？ススキやクズはあちこちに生えていますが、「ナデシコやキキョウは…、園芸店でしか見たことがない」、という方が大半ではないでしょうか。野生生物の絶滅の危機は、都市から遠く離れた原生林のみで生じている問題ではありません。むしろ、人里やその周辺から多くの動植物が姿を消し、生物の多様性は著しく損なわれつつあります。「自生のキキョウが見られなくても、別に問題ないよね」、果たしてそうでしょうか？その結果、私たちはどのような損失をこうむるのでしょうか？その文化的側面について、風景や景観といった視点から考えてみましょう。

テーマ
2

ランドスケープ・デザインについて

京都の西芳寺（苔寺）はコケが敷き詰められた美しい庭園景観で有名ですが、作庭当初はコケが繁茂していなかったといわれています。この景観は自然と人間が長い年月をかけて育んできた賜物であるといえます。一方、鎌倉のあるお寺では、庭の周りの樹林がほぼ自然のまま遷移してしまったため、庭園内から外部への重要な眺望が失われてしまいました。ここでは、歴史遺産の尊重と自然保護との考え方の違いが大きな問題となっています。例えば、ランドスケープ・デザインとは、このような問題を扱う分野なのです。

高校でご用意いただく機器

パワーポイントのプロジェクター

出講可能曜日

(水)・金・土曜日(春・秋学期で出張可能日が変更になる可能性があります)

教員Profile

略歴

1995年3月、千葉大学大学院園芸学研究科環境緑地学専攻修士課程終了。1995年4月から2000年3月まで(株)緑生研究所に勤務し、植物相および植生調査を担当。2000年4月より恵泉女学園短期大学園芸生活学科助手。造園部門担当。2005年4月恵泉女学園大学人間社会学部へ異動。2008年3月、千葉大学大学院園芸学研究科にて博士(農学)の学位取得。

担当科目

「環境デザイン」、「環境デザイン実習」、「生活園芸I」など

研究テーマ

日本庭園の植栽史、庭園デザイン

研究業績

学術論文

*宮内泰之・田畠貞壽, 遺存植物体の分析に基づく鎌倉期建長寺庭園の植栽に関する考察, ランドスケープ研究65(5), 431-434, 2002年3月

*宮内泰之ほか, 塔の山の植物相および植生管理に関する考察, 恵泉女学園園芸短期大学研究紀要36, 39-50, 2005年3月

*河原由紀・宮内泰之, 夢窓疎石に関わる庭園の空間構成に関する一考察, 瑞泉寺と西芳寺を事例として, 日本庭園学会誌17:111-116, 2007年

学位論文

*遺存植物体による庭園植栽の復元的分析手法に関する研究, 千葉大学大学院園芸学研究科, 2008年3月

2013年度 恵泉女学園大学出前講座 実施実績

開催日	曜日	高校等	高校所在地	派遣講師	テーマ	名称	対象	受講人数
7月 1日	月	麻生総合高等学校	神奈川県川崎市	松村 正治	なぜ里山が大事なのが「川崎と自然・環境」を軸に	出前講座	2年生	30~50
10月30日	水	東京立正高等学校	東京都杉並区	篠田 真理子	ピーターラビットとトトロから考える自然保護	出前講座	1年生	25~30
11月15日	金	新城高等学校	神奈川県川崎市	秋元 美晴	浦島太郎の玉テ箱	出前講座	1年生	22
12月 2日	月	世田谷総合高等学校	東京都世田谷区	堀 芳枝	①100円ショップはなぜ安い ②ストリートチルドレン	出前講座	3年生	25
12月14日	土	湘南学園高等学校	神奈川県藤沢市	村岡 有香	異文化コミュニケーションを成功させるための基礎知識	出前講座	1年生	20~40
				篠田 真理子	ピーターラビットとトトロから考える自然保護			
1月31日	金	国本女子高等学校	東京都世田谷区	藤田 智	世界一受けたい授業 —野菜編—	出前授業	3年生	52
2月20日	木	淑徳与野高等学校	埼玉県さいたま市	Ken Fujioka	英語で説明してみよう！わかつてもらう英語	出前授業	1・2年生	55 28
				樋口 幸男	花の品種改良最前線			
2月25日	火	大成女子高等学校	茨城県水戸市	斎藤 小百合	「なぜ結婚すると名字がかわるの？」	出前講座	2年生	26
3月 4日	火	大成高等学校	東京都三鷹市	村岡 有香	異文化コミュニケーションを成功させるための基礎知識	出前授業	1・2年生	22
3月14日	金	深沢高等学校	東京都世田谷区	山田 昌裕	アハ体験できる文法	出前授業	1・2年生	20
				Ken Fujioka	元気が出る英語。ヴィデオを使ってCommunication			

【お申し込み方法】

1

本冊子により「出前講座」ご希望の講座・講師をリストアップしてください。



2

次ページの「打ち合わせ書」にご記入のうえ、FAXでご送付ください。
なるべく開催ご希望日の1ヶ月前までにお願いいたします。



FAX:042-376-8604

※事前に本学入試広報室までお電話いただければ、概略をご説明いたします。

TEL:042-376-8217

3

講師のスケジュール調整後、本学よりご返事いたします。



4

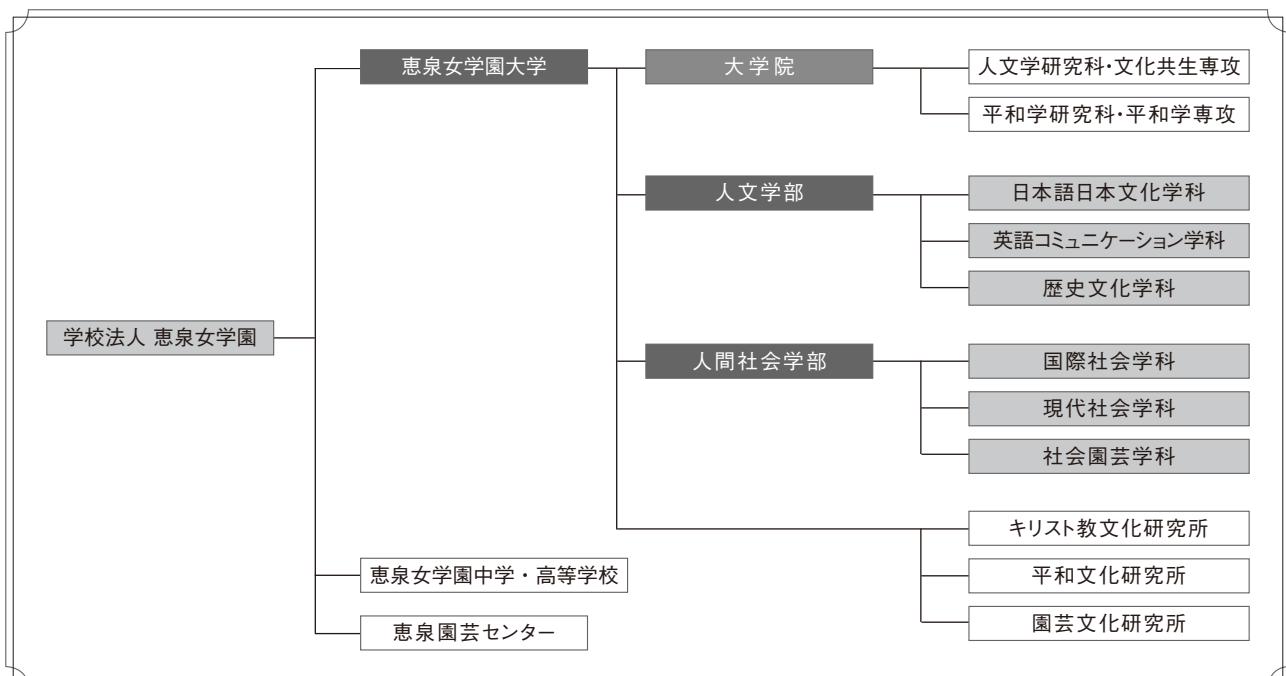
58ページの「講師派遣依頼書」にご記入のうえ、FAXでご送付ください。



FAX:042-376-8604

お申し込み・お問い合わせは

恵泉女子大学 入試広報室 〒206-8586 東京都多摩市南野2-10-1
TEL.042-376-8217(直通) FAX.042-376-8604 E-mail:nyushi@keisen.ac.jp



FAX : 042-376-8604

恵泉女学園大学出前講座 打ち合わせ書

記入日：20 年 月 日

学 校 名					
担 当 部 署					
フ リ ガ ナ 担 当 者 ご 氏 名	職名				
ご 連 絡 先	〒 -				
	TEL : - - - FAX : - - -				
E-mail : @					
予 定 会 場	教室・視聴覚室・体育館・その他()				
ご 希 望 日 時	20 年 月 日 ()				
	時	分 ~	時	分 () 分間)	
第 一 希 望	講師名	テーマ			
第 二 希 望	講師名	テーマ			
第 三 希 望	講師名	テーマ			
受 講 対 象	学年	年生	学科	科	予定人数
講座実施についての ご 要 望 等					
今後の講座について	今回ご紹介したものに他にご希望のテーマがございましたらご記入ください。今後の参考とさせていただきます。				

●お問い合わせ先：恵泉女学園大学入試広報室 TEL.042-376-8217（直通） FAX.042-376-8604 E-mail:nyushi@keisen.ac.jp

●ご記入いただいた個人情報については、本学の個人情報保護指針にもとづき、適正に管理いたします。

恵泉女学園大学 学長殿

20 年 月 日

講師派遣依頼書

高校名

校長名

貴大学の先生を、本校の出前講座の講師として、下記のように派遣してくださいますよう、
お願ひいたします。

記

日時： 20 年 月 日 ()

時 分 から 時 分

講師：

先生

以上

校印省略可。

ご要望等がありましたら、適宜ご記入ください。

この用紙を利用せずに、高校指定の用紙をご利用いただいても結構です。

FAX：042-376-8604**キャンパス見学(大学訪問) 打ち合わせ書**

お申込みの際は、以下の事項をご記入のうえ、恵泉女学園大学入試広報室まで
FAXでご送付ください。折り返し、本学よりご連絡させていただきます。

記入日：20 年 月 日

学 校 名					
担 当 部 署					
フ リ ガ ナ 担 当 者 ご 氏 名	職名				
ご 連 絡 先	〒 -				
	TEL : - - - FAX : - - -				
E-mail : @					
ご 希 望 日 時	20 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 (分間)				
受 講 対 象	学年	年生	学科	科	予定人数
講座実施についての ご 要 望 等					
今後の講座について	今回ご紹介したものの他にご希望のテーマがございましたらご記入ください。今後の参考とさせていただきます。				

●お問い合わせ先：恵泉女学園大学入試広報室 TEL.042-376-8217（直通） FAX.042-376-8604 E-mail:nyushi@keisen.ac.jp

●ご記入いただいた個人情報については、本学の個人情報保護指針にもとづき、適正に管理いたします。

進路指導ご担当の先生方へ

恵泉女子大学 キャンパス見学(大学訪問)のご案内

恵泉女子大学 入試広報室

大学のキャンパスの雰囲気を体験してみませんか。

大学訪問では、高校生はもちろんのこと、先生方にもご来校いただき、大学における教育研究活動を実体験していただきます。本学専任教員による特別授業、大学紹介および学生によるキャンパスツアーなどを行います。

「大学ってどんなところ?」「単位って何?」という素朴な質問はもちろんのこと、専門的な質問にも丁寧にお答えしますので、総合学習の時間にご活用いただければ幸いです。

■実施方法

1.P.59の申込用紙にご記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

折り返し本学よりご連絡させていただきます。

2.本学専任教員による特別授業を行います。

■プログラム例

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1.授業体験 | 4.大学紹介、入試説明 |
| 2.ランチ体験 | 5.園芸体験 |
| 3.学生によるキャンパスツアー | 6.教育農場ツアー |

お問い合わせ先

恵泉女子大学 入試広報室

〒206-8586 東京都多摩市南野2-10-1
TEL.042-376-8217 FAX.042-376-8604
E-mail:nyushi@keisen.ac.jp

【人文学部】

- 日本語日本文化学科(定員60名)
- 英語コミュニケーション学科(定員70名)
- 歴史文化学科(定員60名)

【人間社会学部】

- 国際社会学科(定員90名)
- 現代社会学科(定員60名)
- 社会園芸学科(定員70名)

OPEN CAMPUS 2014

■オープンキャンパスプログラム

大学紹介／学科紹介／教育農場ツアー／キャンパスツアー／入試相談(AO入試含む)・個別相談／保護者対象プログラム／フローラアレンジメント体験／在学生とティータイム／ランチ体験など
10:00～15:30(受付9:45～)／入退場自由

※詳しくはウェブサイトをご覧ください。

5/11(日) 5/31(土) 10:00～16:00・入退場自由
恵泉スプリングフェスティバル(学園祭)

7/20(日) 7/27(日)

8/2(土) 8/16(土) 8/30(土)

9/13(土) 10/12(日)

11/8(土)・9(日) 10:00～16:00・入退場自由
恵泉祭(学園祭)

12/7(日)

恵泉の学生が主催する
楽しいコーナーも盛りだくさん。
在学生の声が聞ける
チャンスです!

随时
受付

学校見学随時受付中
(土曜日曜祝日、夏季休業、年末年始、入試日除きます)
保護者の方も是非一緒に越しください。
■平日は学食でランチ体験もできます。

1・2年生も
大歓迎!

ACCESS

京王多摩センター・小田急多摩センター・多摩モノレール多摩センター駅下車



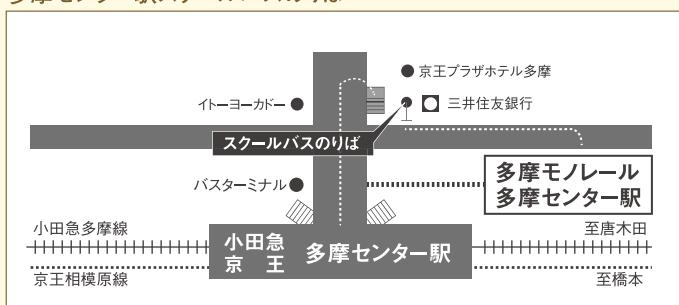
●京王多摩センター駅までの乗車時間
新宿駅から最速で28分
(新宿まで特急または準特急を利用した場合)
市ヶ谷駅から46分
(都営新宿線直通の急行を利用した場合)
橋本駅から10分

●小田急多摩センター駅までの乗車時間
新百合ヶ丘駅から約10分
表参道駅から約37分
(千代田線直通の多摩急行を利用した場合)

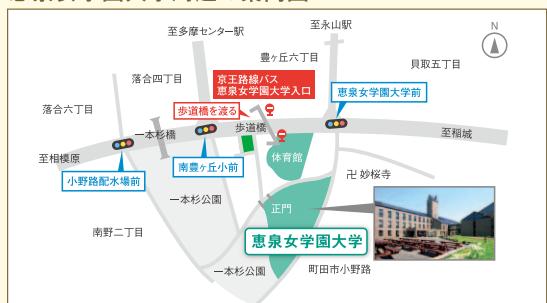
●多摩モノレール多摩センター駅までの乗車時間
立川南駅から約22分
玉川上水駅から約34分

※各駅からの最短距離の乗車時間を表わし、乗り換え等にかかる所要時間を含みません。

多摩センター駅スクールバスのりば



恵泉女学園大学周辺の案内図



恵泉女学園大学

〒206-8586 東京都多摩市南野2-10-1 TEL.042-376-8217(入試広報室) FAX.042-376-8604 E-mail nyushi@keisen.ac.jp
<http://www.keisen.ac.jp> Mobile <http://www.keisen.ac.jp/m> smartphone <http://www.keisen.ac.jp/s>